豊島区
令和3年度　予算案重点事業

豊島区 TOSHIMA CITY | SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

豊島区は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

index

令和3年度予算案の規模と特徴 ・・・・・・・・・・・・・・・・・1
令和3年度新規・拡充事業の規模と特徴・・・・・・・・・・・・・・3

令和3年度重点テーマ

■新型コロナ対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
■SDGs推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
■デジタル化推進事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
■池袋の都市再生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20

2030年に向けた中長期的なテーマ

1.文化を基軸にしたまちづくり ・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
2.子どもと女性にやさしいまちづくり ・・・・・・・・・・・・28
3.高齢者にやさしいまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
4.さらに安全・安心なまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・・36

各分野の重点事業(新規・拡充事業)

新型コロナ対策事業・・・・・・・・・・・・・・・４０
ＳＤＧｓ推進事業・・・・・・・・・・・・・・・４３
デジタル化推進事業・・・・・・・・・・・・・・・４４
文化を基軸にしたまちづくり・・・・・・・４５
子どもと女性にやさしいまちづくり・・４６
高齢者にやさしいまちづくり・・・・４９
さらに安全・安心なまちづくり・・・・５１
次世代を担う子供を育む教育・・・・・５２

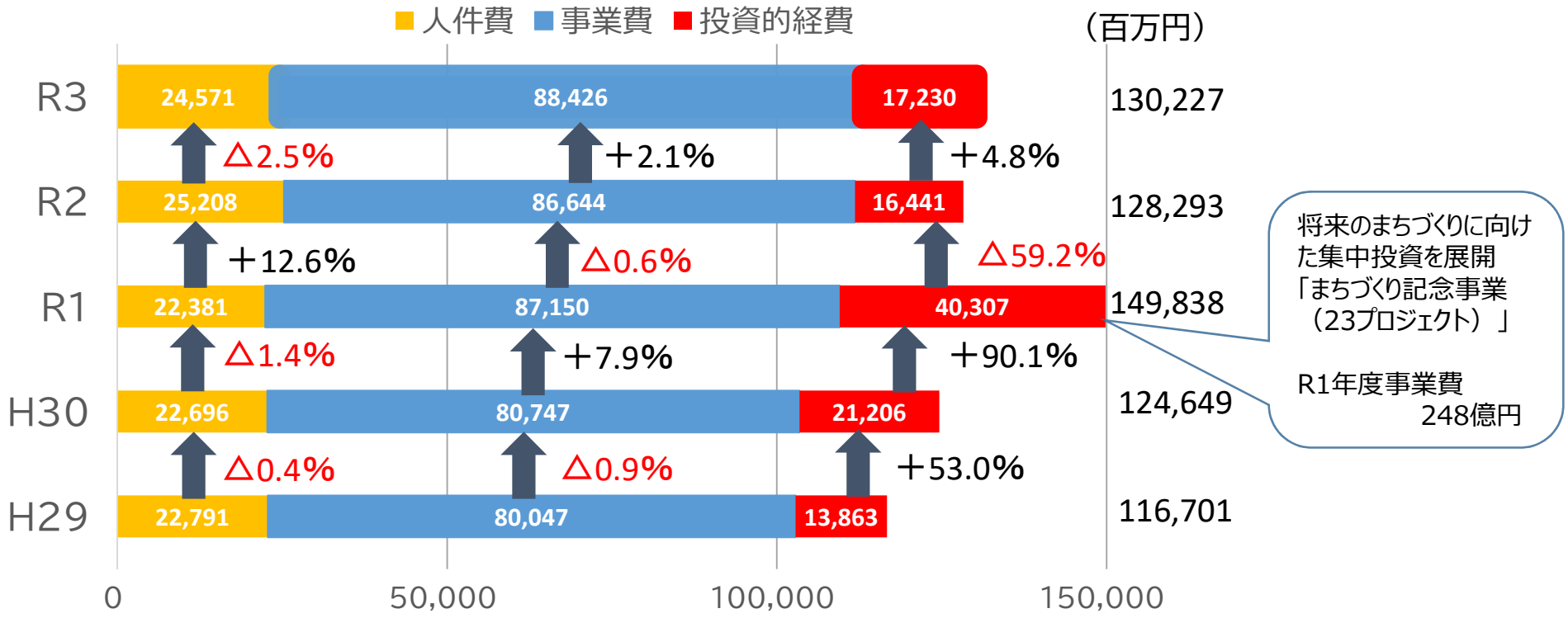
【参考】公益財団法人としま未来文化財団事業 ・・・・・５４

※ 本資料における新規・拡充事業は、全新規・拡充事業の中から抜粋したものです。
※ 継続事業及び補正予算事業も掲載しています。

令和３年度予算案の規模と特徴

一般会計当初予算　1,302億2千7百万円

対前年度比　19億3千4百万円　1.5%増



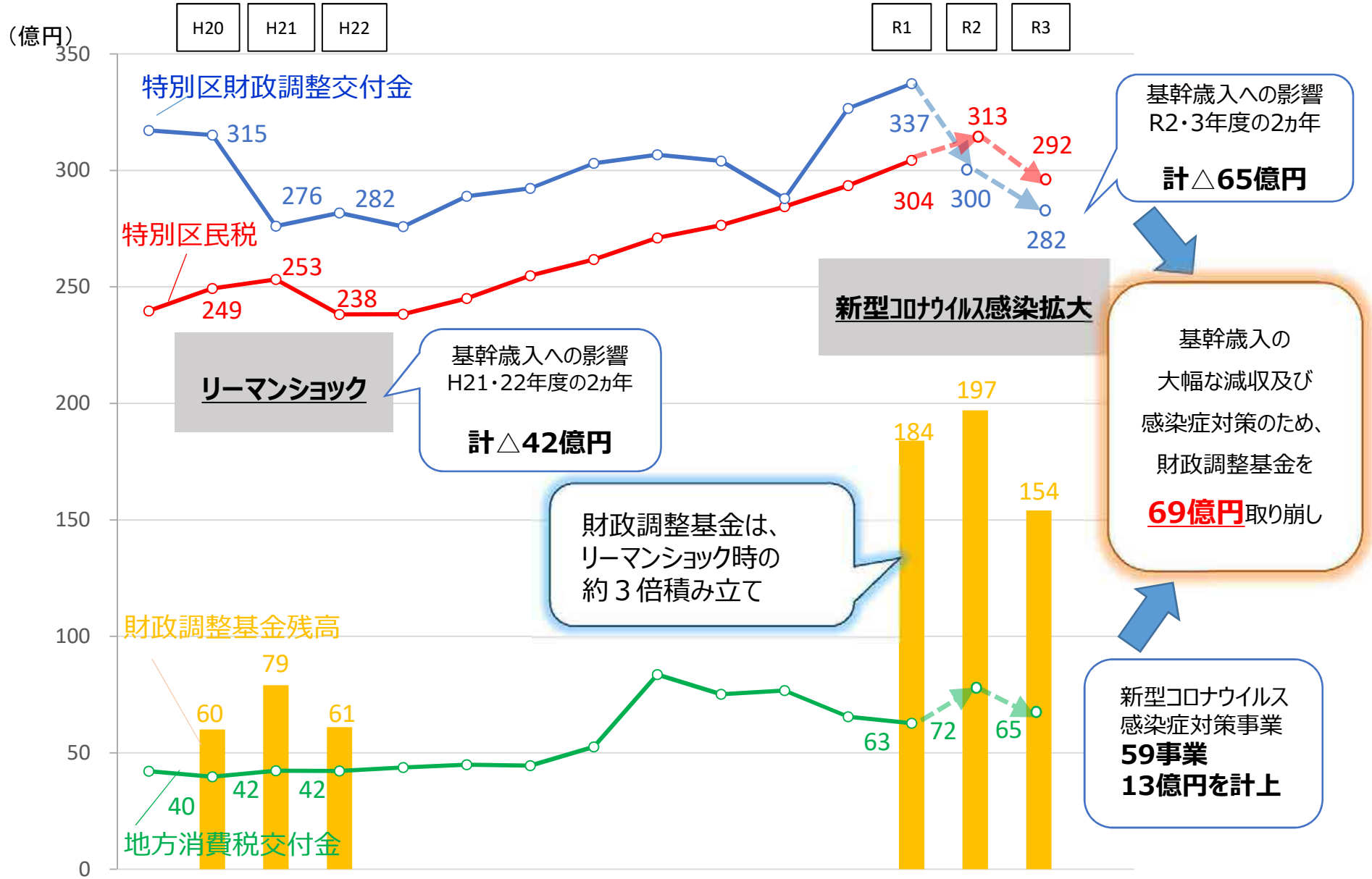
■特徴

○当初予算編成にあたって財政調整基金を取り崩すのは、平成25年度以来、8年ぶり

○コロナ禍における区民生活をしっかりと支えるため、これまで貯えてきた財政調整基金を最大限に活用

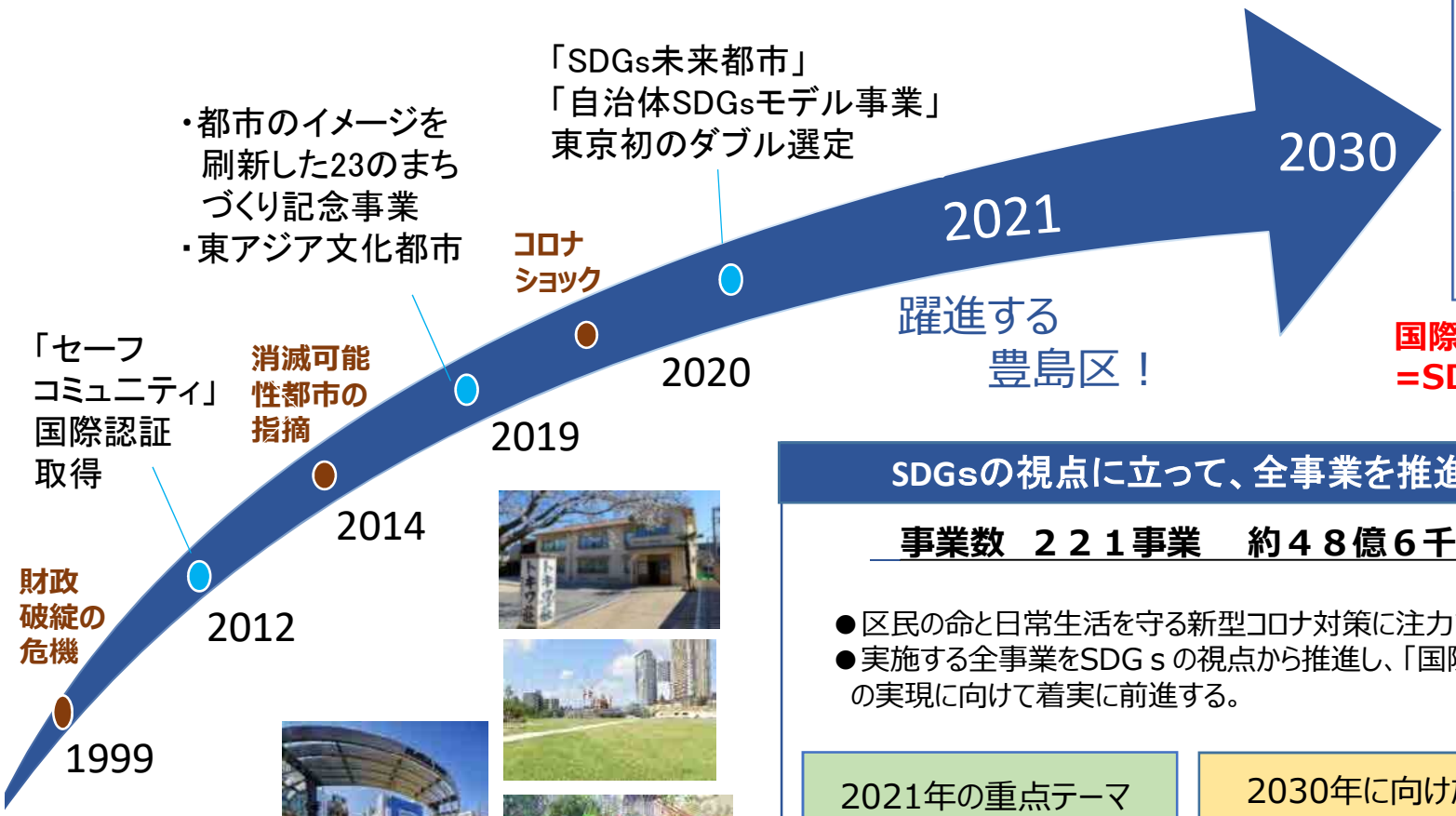
○元年度の文化のまちづくりへの集中投資の成果を結実していく未来指向型の予算を編成

令和３年度予算案の規模と特徴



※基幹歳入・・・特別区財政調整交付金・特別区民税・地方消費税交付金

令和3年度　新規・拡充事業の規模と特徴



TOSHIMA International City of Arts & Culture

SDGs 未来都市

国際アート・カルチャー都市＝SDGｓ未来都市の実現

SDGsの視点に立って、全事業を推進！

事業数　２２１事業　約４８億６千万円

- 区民の命と日常生活を守る新型コロナ対策に注力する。
- 実施する全事業をSDGｓの視点から推進し、「国際アート・カルチャー都市」の実現に向けて着実に前進する。

2021年の重点テーマ	2030年に向けた中長期的なテーマ
新型コロナ対策	文化を基軸としたまちづくり
SDGs推進	子どもと女性にやさしいまちづくり
デジタル化推進	高齢者にやさしいまちづくり
池袋の都市再生	さらに安全・安心なまちづくり

令和3年度　重点テーマ

新型コロナウイルス感染症対策事業　・・・ 5ページ

SDGs推進事業　・・・ 11ページ

デジタル化推進事業　・・・ 16ページ

池袋の都市再生　・・・ 20ページ

※各事業の金額は新規・拡充予算額を記載。拡充は既存の予算額を含まない、純増した予算額を記載。

充実の検査・予防体制と経済支援で区民に安心を

事業数	事業費	うち新拡分事業費
29事業	14億2,203万円	10億3,026万円

※ワクチン接種経費除く

＼いち早く区民へ届けます／

①ワクチン接種体制

円滑なワクチン接種に向けて、体制を確保し実施します。

●巡回接種を加えた3層のワクチン接種会場を展開（豊島方式）

＼利用者も従事者も安心！／

②検査・予防体制

未然に感染拡大を防ぐため、PCR検査の実施範囲を拡大します。
検査にかかる費用は区が負担します。

●介護・障害施設等職員のPCR検査
●子ども関連施設職員のPCR検査　など

＼誰一人取り残さないコロナ対策／

③区民支援体制

子育て世帯や在宅介護世帯など、支援を必要とする
方々へきめ細やかなケアを提供します。

●在宅要介護者の受入体制整備事業
●区有地を活用した介護施設に対する臨時特例的財政支援　など

＼がんばれ！としまの商店街／

④経済支援体制

感染拡大を防止しつつ、区内経済の活性化に向けて、商店街への支援を継続していきます。

●商店街キャッシュレス決済ポイント還元事業
●商店街プレミアム付地域商品券補助事業　など

新型コロナ対策事業　①ワクチン接種体制　【令和3年度重点テーマ】

◆「豊島方式」…3層のワクチン接種会場を展開
集団接種、個別接種に加えて「区民ひろば」を活用した巡回接種を展開

補正

豊島区医師会・歯科医師会・薬剤師会及び区内医療機関等と連携し、ワクチンの接種を迅速・円滑に実施します。
集団接種と個別接種に加え、地域密着型のコミュニティ施設「区民ひろば」を５つの接種チームが巡回し、多様な区民ニーズに応える接種環境を提供します。

■ワクチン接種体制確保及びワクチン接種経費（予定）
- 令和2年度予備費充当　6千万円
- 令和2年度補正予算(第7号)　3億8千万円
- 令和3年度補正予算(第1号)　10億8千万円

■接種対象者
- 16歳以上の方（2回接種）
- 接種順序
  ①医療従事者等→②高齢者→③基礎疾患のある方→その他の方
- 接種対象者数（暫定）
  令和3年1月1日現在の住民登録者数より算出すると以下のとおり。

接種対象者数	住民登録者数	うち外国人
住民登録者数	287,300人	26,458人
うち16歳以上	**259,608人**	**25,011人**
うち65歳以上	**57,293人**	**748人**

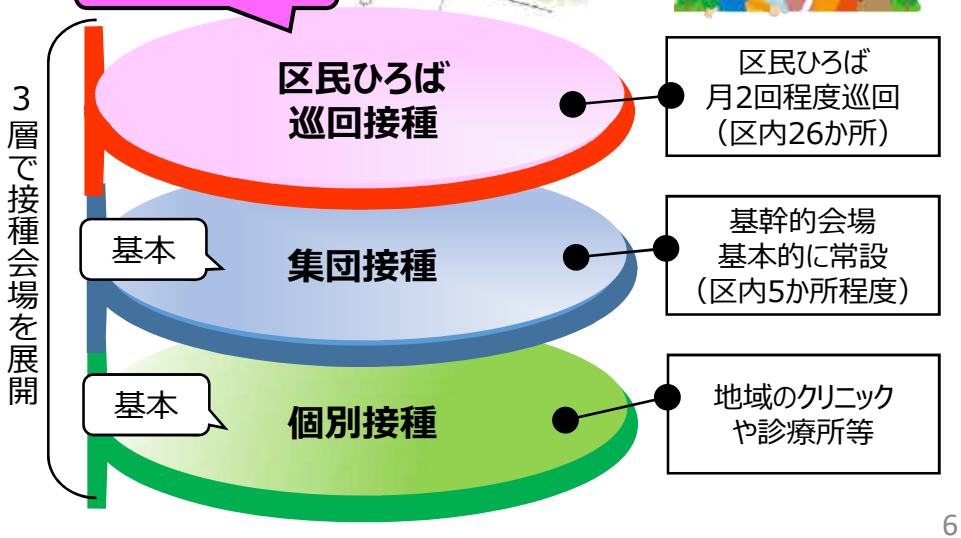
■接種会場（3層）→右図を参照
- 個別接種…地域の医療機関
- 集団接種…区内5か所程度の公共施設
- 巡回接種…区内26か所の「区民ひろば」

■接種規模
- 上記の接種会場により、週12,000～15,000回を目標

■ワクチン接種スケジュール
２月下旬　医療従事者の接種開始
３月上旬　区専用コールセンター開設
３月中旬　クーポン券郵送（高齢者）
　　予約受付
３月下旬～　高齢者より順次接種
４月上旬～　クーポン券発送（その他）

「区民ひろば」
（22小学校区に26か所）

豊島区独自!



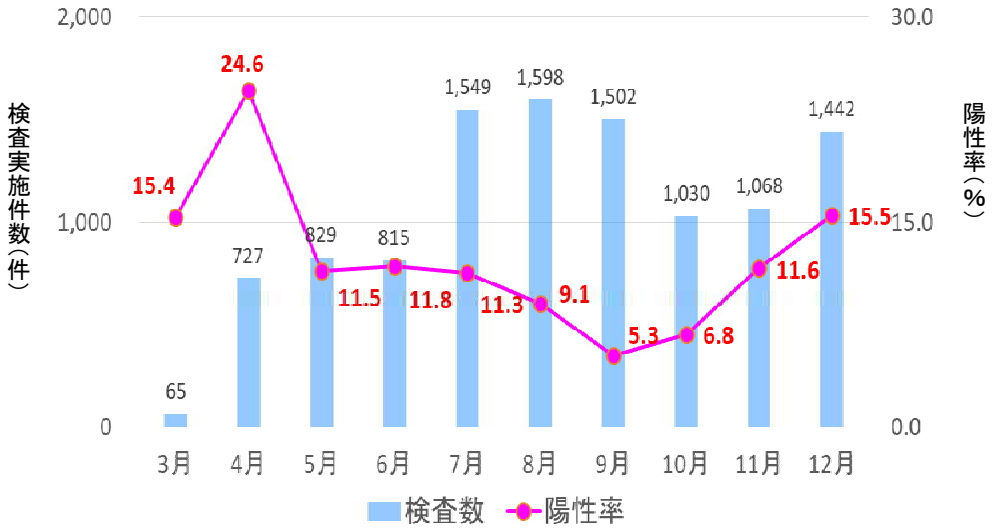
新型コロナ対策事業　②PCR検査等感染拡大防止の徹底　【令和3年度重点テーマ】

◆PCR検査センター運営委託　新規

豊島区医師会と連携し、安定的なPCR検査体制の整備を図ります。

■区施設の敷地内にPCR検査センターを設置
※検査は豊島区医師会に委託
・運営日数・時間：週2～3回（1日2時間程度）
・検査数：1日あたり20～25件程度

■区内医療機関にPCR検査センターの運営を委託
・運営日数・時間：週4～5回（1日2時間程度）
・検査数：１か所１日あたり20～30件程度
・実施医療機関数：２か所
・入院病床の確保：区民が優先的に利用できる病床（2床）を確保。



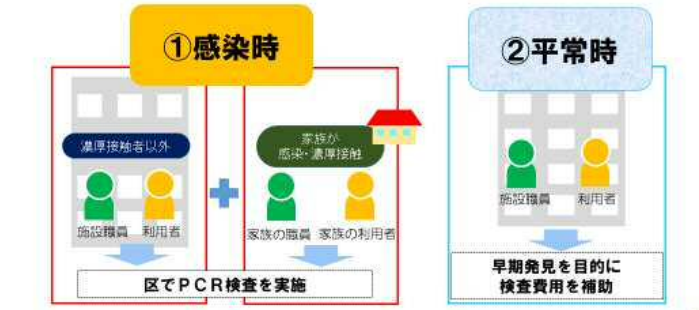
令和２年３月～12月の検査数と陽性率の推移

PCR検査センター運営委託
２事業　1億568万円 ➡ 40ページ

◆介護施設や障害者施設職員へ平常時にも早期発見を目的としたPCR検査も実施　新規

介護施設や障害者施設において、行政検査の対象外となった職員や利用者に対し、PCR検査費用を公費で負担します。

①感染発生時：施設職員や利用者にPCR検査センターによる検査を実施。
②平常時：事業所に対して陽性者の**早期発見を目的に**実施するPCR検査に必要な経費を補助。



新型コロナウイルスに対する施設の安心感と安全性を向上

介護・障害福祉サービス事業者等におけるPCR検査実施事業
2事業　9,969万円 ➡ 41ページ

◆子ども関連施設職員へ幅広くPCR検査を実施　新規

保育施設や学校等において感染者が発生した場合に、その施設に勤務する職員のうち、希望する職員のPCR検査を区で実施します。
疫学調査の結果、行政検査の対象外となった職員でも、希望に応じて検査を受けられる体制を整えます。

子ども関連施設等に勤務する職員のPCR検査事業
2事業　3,423万円 ➡ 42ページ

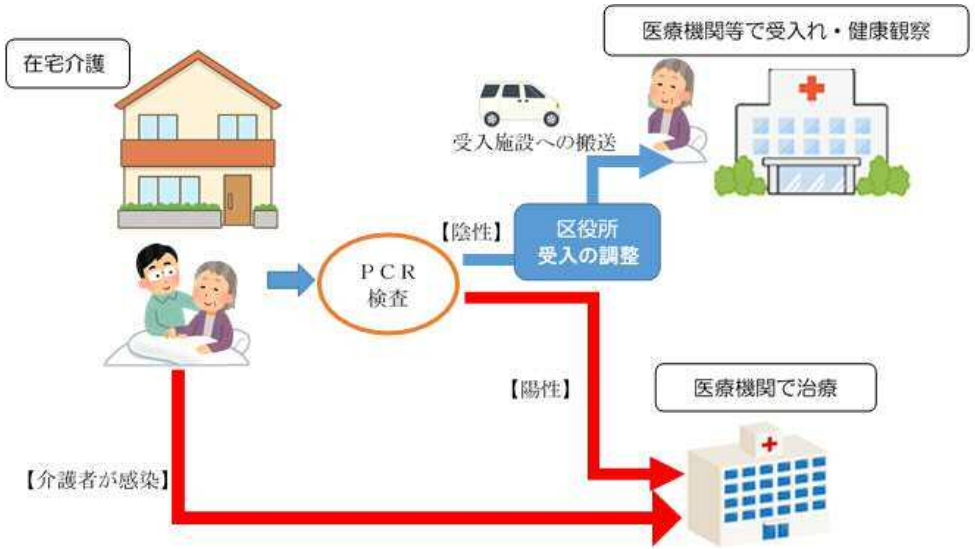
新型コロナ対策事業　③コロナ禍における支援体制の強化　【令和3年度重点テーマ】

◆介護者のコロナ感染時に要介護者を医療機関等で受け入れ

新規

介護が必要な高齢者や障害のある方が住み慣れた地域での生活を継続し、感染した家族等が安心して療養に専念できる環境を整えます。

・介護が必要な高齢者や障害者が安心して介護等を受け、健康観察を受けられる医療機関等を確保。
・感染が拡大しないよう、専用の移送車両を確保。
・受入れにあたって必要に応じてPCR検査（自費分）についても調整し、実施。



在宅要介護者の受入体制整備事業
2事業　1,339万円 ➡ 41ページ

◆区有地を活用した介護施設に対する臨時特例的財政支援

社会福祉法人においては、新型コロナウイルス感染症による介護サービスの減少により、経営状況が悪化しています。
経営のひっ迫は、利用者へ多大な影響を与えかねないことから、令和3年度に限り、区有地を活用した特別養護老人ホームやグループホームなどの介護施設に対して、臨時特例的な対応として土地賃料などの財政支援を行います。

想定額　約6,000万円

◆食を通した子どもや家庭と地域のつながり

拡充

子ども食堂では、食を通して地域がつながり、困難を抱える子どもや家庭にとっては食事の確保ができ、安心して過ごせる場所となっています。
子ども食堂の活動は地域に定着しつつあり、コロナ禍にあっては、お弁当や食材の配付の実施により、つながりの持続を図っています。
区では、子ども食堂が安全で安定した活動が持続できるよう、引き続き支援していきます。

子ども食堂

食材配付

子ども食堂推進事業
390万円 ➡ 41ページ

◆商店街におけるキャッシュレス決済を推進、利用者に20%のポイント還元を行います

新規

導入コストが安価なＱＲコードを利用したキャッシュレス決済を面的に導入した商店街の加盟店舗をポイント還元対象とし、利用者にポイント還元（20%）して消費喚起を図ります。

対象を加盟店舗に限定することで、加盟店増加を図るとともに、商店街の活性化を推進します。

導入スケジュール

令和3年4月～／商店街向け事業説明会実施
令和3年4月～／キャッシュレス決済事業者選定
令和3年5月～／対象商店街募集
令和3年6月～／対象商店街のキャッシュレス決済化準備
令和3年7月～／キャッシュレス決済ポイント還元開始

商店街キャッシュレス決済ポイント還元事業
4,000万円 ➡ 40ページ

◆商店街が発行するプレミアム付商品券に補助金を支給します

新規

商店街がプレミアム率や発行額、発行券種、周知方法、販売方法、使用期間等を独自に決定し実施するプレミアム付商品券事業経費について補助します。複数の商店街が合同で実施することも可能です。

本事業は商店街が対象店舗や事業内容を企画するため、商店街会員店舗の売上げ増や商店街の活性化が期待できます。

補助対象経費
〇プレミアム分経費
〇商品券印刷経費
〇周知費（チラシ、ポスター、のぼり旗等作成経費）
〇販売員人件費　など

導入スケジュール

令和3年4月～／商店街向け事業説明会実施
令和3年5月～／補助金申請受付
令和3年5月～／補助金認定後、各商店街で事業スタート

▲プレミアム付商品券イメージ

商店街プレミアム付地域商品券補助事業
6,000万円 ➡ 40ページ

◆新型コロナウイルス感染症対策緊急資金

新規

本区では、令和2年5月に無利子・信用保証料全額補助の「新型コロナウイルス感染症対策緊急資金」を新設しました。

感染拡大が続く中、令和3年度は要件を拡充し同事業を継続いたします。

○融資限度額：1,000万円
○返済期間：60か月（据置期間12か月）
○利子補給：固定金利1.5%（区が全額補助、本人負担0%）
○信用保証料：全額補助
○要件：直近1年間の売上高が前年比で減少していること
※令和2年度は売上高20%以上減少が要件
○受付期間：令和3年4月1日～

新型コロナウイルス感染症対策緊急資金の拡充
2億,362万円 ➡ 40ページ

◆コロナ対策緊急資金利子補給

拡充

▲相談窓口の様子

令和2年度に上記「新型コロナウイルス感染症対策緊急資金」を利用した事業者に対し、利子補給を継続します。

※融資あっせん件数は1,281件（令和3年1月21日時点）

コロナ対策緊急資金利子補給
1億5,612万円 ➡ 40ページ

◆新型コロナウイルス感染防止対策費用補助事業

新規

本区では、令和2年12月1日より、「ななま～るステッカー」登録事業者を対象とした「新型コロナウイルス感染防止対策費用補助金」の受付を開始しました。
※申請実績は135件（令和3年1月21日時点）

感染拡大が続く中、令和3年度も同事業を継続し、区内中小企業者の安全・安心な事業運営をサポートします。

○申請時点で「豊島区感染拡大防止対策推進登録制度」（ななま～るステッカー）の登録を完了し、区内で引き続き3か月以上事業を営んでいる中小企業者が対象
○補助対象経費
新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン等に基づき実施する、店舗・事務所改装費や衛生環境改善品の購入費　等
○補助額、補助率：上限10万円、4/5補助
○受付期間：令和3年5月～

▲ななま～るステッカー

新型コロナウイルス感染防止対策費用補助事業
2,000万円 ➡ 40ページ

SDGs推進事業

【令和3年度重点テーマ】

SDGsとは

- SDGsは、2015年9月の国連サミットで採択された、2030年を年限とする、17の国際目標。
- 地球上の誰一人取り残さない社会の実現を目指し、経済・社会・環境の諸課題を統合的に解決しようとするもの。

「SDGs未来都市」「自治体SDGsモデル事業」とは

東京初！

- 「SDGs未来都市」
  ・SDGsの達成に貢献する優れた自治体
  （2020年度は、33自治体が選定）
- 「自治体SDGsモデル事業」
  ・「SDGs未来都市」の中で、
  特に先導的な取組
  （2020年度は、10自治体が選定）
- **ダブル選定は、東京初の快挙**

「としまSDGs都市宣言」

- SDGsを区政の軸に据え、公民連携によるまちづくりをさらに推進するため、令和２年10月、「としまＳＤＧｓ都市宣言」を豊島区議会に提案、全会一致で採択される。

2020年度SDGs未来都市一覧

SDGs推進事業　【令和3年度重点テーマ】

- 支援が必要な子ども・家庭への支援

- こころとからだの健康づくりの推進
- ファーマーズマーケットでの新鮮野菜の提供

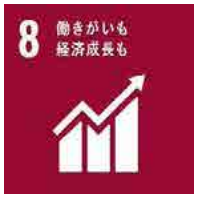
- 待機児童ゼロ。切れ目のない子育て支援
- 総合高齢社会対策プロジェクトの推進

- すべての子どもが自分らしく育つ環境づくり
- 多様な生涯学習活動ニーズへの対応

- 男女共同参画社会の実現
- ワークライフバランスの実現

- 女性にやさしいパブリックトイレ、アートトイレプロジェクトの推進

- IKEBUSの活用促進
- 脱炭素化の推進



- 池袋副都心や活力ある地域拠点の再生
- マンガアニメなどの資源を活かした観光振興

- 地域産業の活性化
- 新たなビジネス展開の支援

- 多文化共生の推進
- あらゆる不平等のない多様性・寛容性の高いまちの形成

- 文化を基軸としたウォーカブルなまちづくり
- 区民ひろばでの世代を超えた交流活動

- 3Rの推進
- 安定的で適正なごみ処理の推進

- 脱炭素化の推進
- 地方都市と連携したカーボンオフセット

- プラスチック製容器包装の完全分別収集

- 10万本植樹などみどりの保全
- 地域とともに育つ公園

- セーフコミュニティ、安全安心まちづくり
- 平和や人権に関する意識の向上

- 公民連携オールとしまで稼げる自治体の実現

SDGs推進事業

【令和3年度重点テーマ】

自治体SDGsモデル事業

池袋駅周辺の４公園を核にした、まちづくり

事業数（主な事業）	事業費	うち新拡分事業費
11事業	1億5,866万円	1億5,350万円

- **個性ある4つの公園の運営団体（エリアマネジメント組織）を連携させることで「新たな交流、表現、にぎわい」を創出**
- **電気バスで各拠点を回遊、サポーター企業と共同イベント実施**

2019年11月 オープン
■池袋西口公園【愛称：グローバルリング】
本格クラシック演奏などが可能な野外劇場

2019年10月 オープン
■中池袋公園
マンガ・アニメの聖地。「Hareza池袋」の前庭空間

2016年4月オープン
■南池袋公園
芝生が一面に広がる区民、来街者のオアシス

・民間によるバス運営
・災害時は非常用電源としても活用

2020年12月 グランドオープン
■としまみどりの防災公園【愛称：イケ・サンパーク】
あらゆる防災機能を有する区内最大面積の公園

★としまキッズパークもオープン
インクルーシブの概念も取り入れ、誰もが一緒に遊べる公園

SDGs推進事業　【令和3年度重点テーマ】

◆イケ・サンパーク　ファーマーズマーケット　新規

IKE·SUNJ PARK FARMERS MARKET　～週末ごとの新しい出会い～

「としまみどりの防災公園（イケ・サンパーク）」で農産物や区内商店の名品などを販売するファーマーズマーケットを開催し、区民の新たな日常と賑わいを創出します。

生産者と消費者、人とまちがつながる場

・友好都市・近郊都市から産地直送の新鮮な農産物や食料品が出品
・各都市の魅力が味わえ、各自治体の活気につながる、共創の場

毎週末の楽しみとなるライフスタイルを彩る場

出店者と共に、区民の毎週末の楽しみとして地域に根差し、日常やライフスタイルを彩り、発信し続ける場

次世代に向け、チャレンジする場

・新規出店や新商品開発、若い世代の参加など新しい取り組みが絶えずあり、常に発見や魅力、成長に触れられる場
・次世代に向けチャレンジし、地域の活性化や賑わいを創出

イケ・サンパークの近隣にある畑でとれたハーブで作ったオイル▶

令和2年12月、4日間（12/12・13・19・20）で**のべ１万２千人**の来場者
⇒コロナ感染状況に合わせ**春頃に再開予定！**

ファーマーズマーケット事業　7,000万円　➡ 43ページ

◆プラスチック製容器包装を資源へ　新規

廃プラスチックのサーマルリサイクル（可燃ごみで焼却）を見直し、令和4年度からのプラスチック製容器包装の完全分別収集導入に向けた調査を行います。

【現在】

ペットボトル・食品用トレー・ボトル容器は、資源として回収
その他のプラスチック製容器包装は、焼却しサーマルリサイクル

【導入後】

プラマークの付いた容器と包装全て

パレット

再生樹脂

全てのプラスチック製容器包装を材料リサイクル・ケミカルリサイクル

（写真は日本容器包装リサイクル協会HPより転載）

2,600トンのCO_2削減

燃やすごみ1,595トンが資源に！！

第5期豊島区リサイクル・清掃審議会にて試算

今後の流れ（予定）

令和3年度：基礎調査 → 結果を分析 → 令和4年度：区民説明 → 実施

プラスチック製容器包装の完全分別収集導入事業　524万円　➡ 43ページ

◆ひきこもりの相談体制を強化 ～8050問題に対応～

新規

「8050問題」が全国で深刻化しています。豊島区でも約2,000世帯がひきこもり状態と推定されますが、相談等は約1割にとどまり、実態の把握が難しい状況です。

区では高齢、障害、生活困窮者など10の関係課職員（福祉包括推進員）が定期的に協議・情報共有、対象者の支援をしています。

令和3年度は、専門家や当事者などで構成する「(仮)ひきこもり支援協議会」を設置し、個々に応じたきめ細やかな支援方法などを多角的に検討します。

学識経験者、当事者、行政等で構成

アウトリーチによる実態把握	**（仮）ひきこもり支援協議会の設置**
ひきこもり支援に携わる職員の育成	ひきこもり相談窓口の周知

◀10課が連携して情報共有と支援

ひきこもり相談窓口

ひきこもり支援事業　1,115万円　➡　43ページ

◆平和への願いをこめて ～戦後75周年事業～

新規

23区で最初に非核都市宣言を行った自治体として、事業を拡大し、戦争の恐ろしさ、平和の尊さを広く区民に伝えていくための情報発信の強化を図ります。
・戦争関連資料の展示や平和に関しての映画鑑賞会を開催

▲戦争関連資料等の展示の様子

憲法・非核平和・人権思想周知関係事業　178万円　➡　43ページ

◆子どもの権利推進

「豊島区子どもの権利に関する条例」に定める大切な子どもの権利や、おとなの役割を多くの皆さんにご理解いただくために、周知・啓発や意見表明の場づくりを実施しています。

・新たにオリジナルマンガ版パンフレットを作成し、子ども関係施設などで配布
・区民の方などを対象とした出前講座を実施
・子どもの意見表明権を保障するための取組として、子どもたちが区政などを話し合い、意見を発表する「としま子ども会議」を継続して開催

▲としま子ども会議発表会の様子

デジタル化推進事業

【令和3年度重点テーマ】

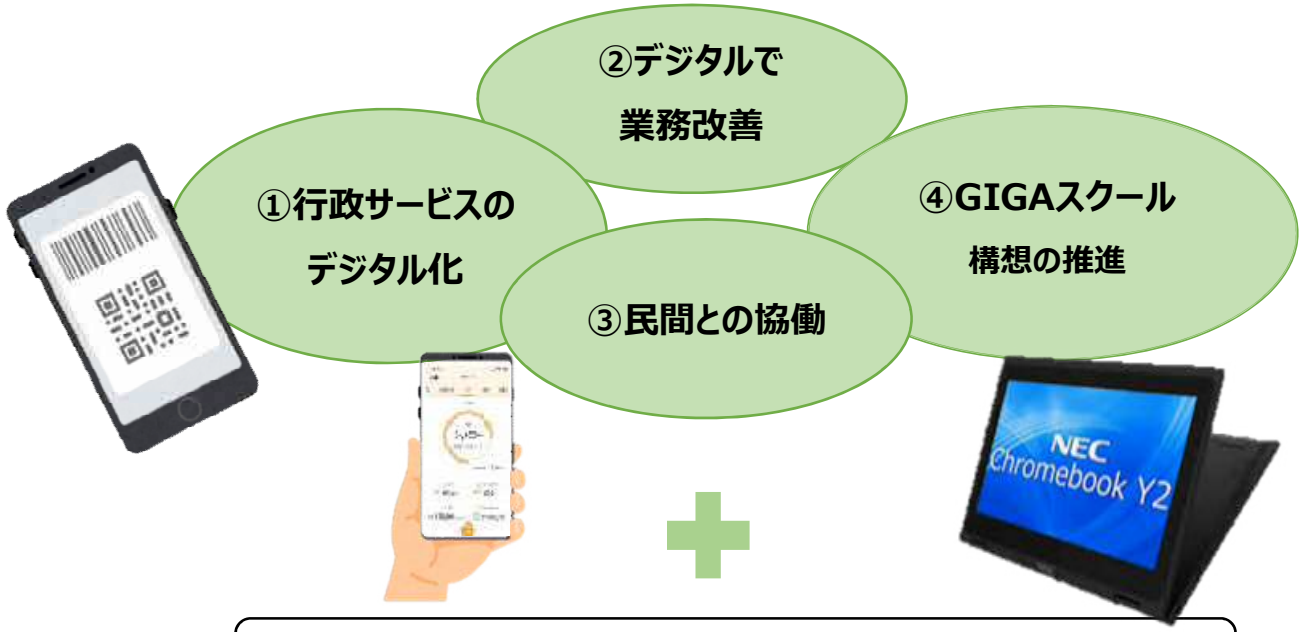
事業数	事業費	うち新拡分 事業費
10事業	5億1,480万円	2億9,626万円

デジタル活用の未来への土台作り

・民間の区市町村電子化推進度ランキングで23区中第2位！（全国15位）

・GIGAスクール構想：令和2年、児童・生徒にいち早くタブレットを配備

・令和2年度からペーパーレス・ハンコレス検討・デジタルガバメント検討のプロジェクトチームを立ち上げ、全庁を挙げてデジタル化を進めています。



デジタル化推進人材の育成・デジタル化推進風土の醸成

デジタル技術の利活用により、

利用者中心の行政サービス、新しい社会・まちづくりの実現へ

◆おくやみコーナーでご遺族の負担を軽減！　新規

身近な方がお亡くなりになった後の様々な手続きについて案内する専用の窓口「おくやみコーナー」を開設します。その方に必要な手続きをまとめて、各窓口などを案内します。
また、氏名や住所等の基本情報を印字した申請書や届出書等を提供することで、ご遺族の負担軽減を図り、ご遺族の方へ寄り添った支援を目指します。

おくやみコーナーの特徴

●手続き漏れによる再来庁を防ぐ

職員がご遺族の方に合わせた必要な手続きを関係課に確認し抽出します。必要な手続きを一覧化して遺族の方へお渡しすることで、手続き漏れをなくします。

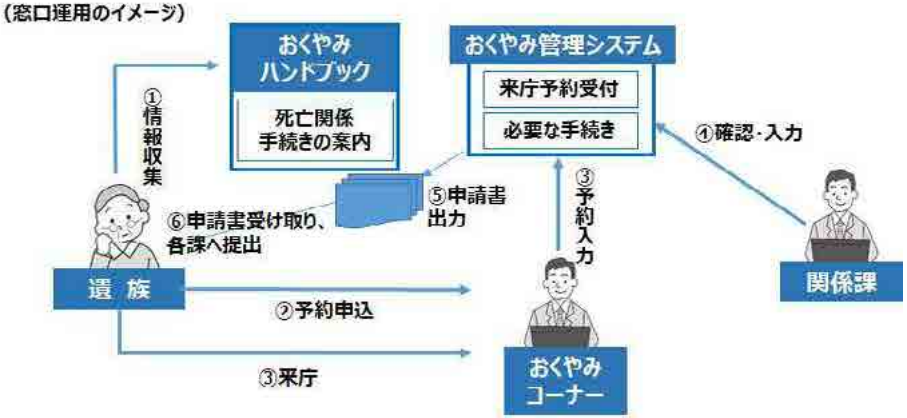
●ご遺族の負担軽減

氏名や住所等の基本情報を印字した申請書をお渡しするため、何度も同じ内容を記載せずに済むことで、遺族の方の時間と労力を極力かけないようにします。

●事前予約制による待ち時間の減少

窓口は事前予約制のため、待ち時間なくスムーズにご案内ができます。

（窓口運用のイメージ）



（イメージ）
◀「おくやみコーナー」窓口の様子

おくやみコーナーの開設事業　1,000万円 ➡ 44ページ

◆公金納付・手数料のキャッシュレス決済拡大　継続

税・保険料の公金納付に電子マネー（PayPay 請求書払い他）を追加導入、税証明の手数料に電子マネー、クレジットカードを追加導入します。非対面・非接触の決済環境を整備・拡充し納税者の利便性向上を図るとともに、デジタルガバメントとして区民サービスのIT化、情報化を推進してまいります。

1、税・保険料の公金納付に利用可能となる電子マネー、クレジットカード

LINE Pay　VISA　mastercard　PayPay　JCB　AMERICAN EXPRESS　Diners Club INTERNATIONAL

2、税証明の手数料に利用可能となる電子マネー、クレジットカード

PayPay　Suica　PASMO　iD　VISA　mastercard　nanaco　WAON　楽天Edy　SAISON CARD INTERNATIONAL　UnionPay 銀聯

デジタル化推進事業　②デジタルで業務改善　③民間との協働　【令和3年度重点テーマ】

◆適正な公文書管理推進のための システム構築

新規

適正な公文書管理をより厳密に行うため、豊島区公文書等の管理に関する条例を踏まえた公文書管理システムの構築を行います。
紙文書・ファイルサーバー上の電子文書とともに一体的な管理を行う機能や、電子文書の改ざん防止を強化した機能等を盛り込みます。

豊島区公文書管理システムの主な特徴

ポイント1　**改ざん防止機能**の強化

決定後の文書を版管理・履歴管理し、トレーサビリティ（追跡可能性）を確保。

ポイント2　**評価選別機能**の導入

重要公文書の評価選別機能を導入し、それに伴う移管・廃棄・延長機能の向上。

ポイント3　紙文書、電子文書を含めた**一体的な文書管理機能**の強化

紙文書や電子データをシステムと同一体系で管理することによる、文書検索性の向上。

公文書管理システム構築業務委託事業　2,355万円 ➡ 44ページ

◆オンラインによる委員会等の実施

新規

新型コロナウイルス感染症の拡大等により、区議会議員が委員会室等への参集が困難になった場合でも、オンラインで委員会等を開催し、必要な審査や協議を行うための環境を整備します。

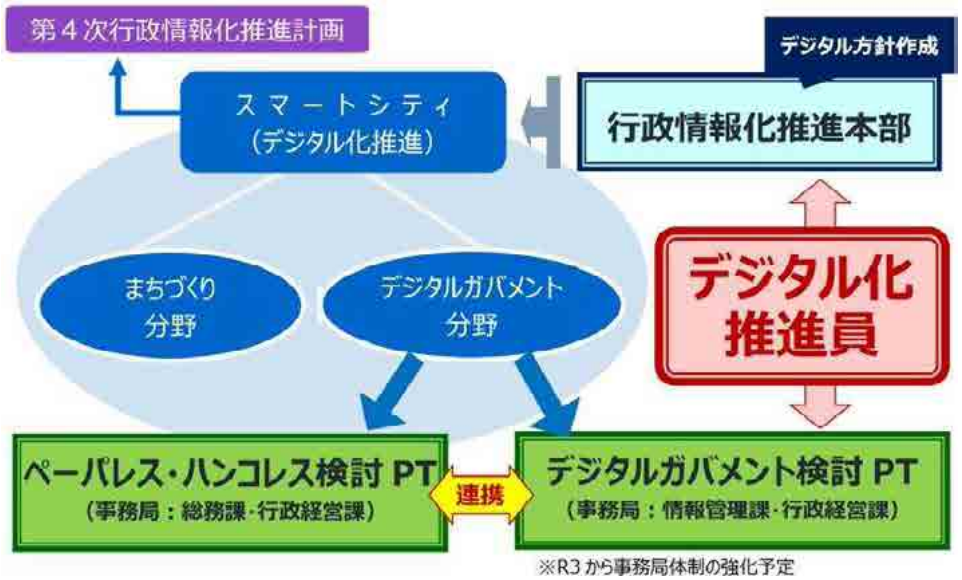
オンラインによる委員会等の実施事業　74万円 ➡ 44ページ

◆デジタル化推進員の任用

新規

ICTに関する専門的な知見を有する人材を外部から登用し、デジタル化戦略を推進します。
令和2年度からペーパーレス・ハンコレス検討、デジタルガバメント検討のプロジェクトチームを立ち上げています。

・システム導入・変更について専門的な見地から助言・提言等ができる人材を民間外部から登用
・デジタル化を推進する職員を育成



デジタル化推進員の任用　300万円 ➡ 44ページ

デジタル化推進事業　④GIGAスクール構想の推進　【令和3年度重点テーマ】

◆“いつでも”“どこでも”学べる学習環境

拡充

文科省の「GIGAスクール構想」に基づき、令和2年9月、児童・生徒に一人1台のタブレットPC（Chromebook）を配付しました。
令和3年度に増加する児童・生徒数及びクラス配備分のChromebookを整備することで、子供も教員も含めて“いつでも”“どこでも”学べる学習環境を実現します。

令和3年度　児童・生徒増加分	クラス配備分	【計】
500台	422台	922台

▲配付しているタブレットPC

Chromebook端末の整備事業
2億1,949万円 ➡ 44ページ

◆「新しい学びのスタイル」への支援強化

拡充

学習ICT環境が大きく前進した中で、主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善を進めています。そこで、区内各学校に派遣されているICT支援員を充実させ、効率的に配置することで、教員の資質向上を図るとともに、「新しい学びのスタイル」の構築を加速させます。

	ICT支援員の主な役割と必要性
授業中	**タブレットの操作補助や不具合対応** ・小学校低学年や個別に配慮が必要な児童・生徒に対して、教職員が個別に指導を行うことによる授業進行遅滞の防止 ・機器トラブルや不具合等の対応 ・新たなアプリの導入時に動作を確認しながら授業を進行する場合の対応
授業前後	**教職員に対する、教材作成等の支援** ・翌週以降の授業計画作成の支援 ・苦手意識がある教職員への基本操作や授業中の支援 ・学校内部研修の実施 ・アプリ等の活用に際する専門的知識の助言

ICT環境整備事業（ICT支援員）
653万円 ➡ 44ページ

「ひと」が主役の「SDGｓ未来都市」を池袋から世界に発信

乗降客２６５万人の「駅袋（エキブクロ）」を大改造！

駅東西の開発により、国内最大級の歩行者広場 を整備

駅からまちへと、地上・地下結節空間を起点として周辺街区へ導く
池袋ならではの魅力を生かした　**国内最大級の歩行者広場**。

歩行者広場の先に、賑わいのあるストリートや個性ある公園などとつなげることで
居心地のよい、回遊性のあるウォーカブルな都市空間を創り出します。

「誰をも受け入れ、誰からも受け入れられ、持続して発展する」
東京をリードする国際文化都市として躍進します！

「ひと」が主役の「SDGs未来都市」を池袋から世界に発信

乗降客265万人の「駅袋（エキブクロ）」を大改造
駅東西の開発により国内最大級の歩行者広場を整備
駅からまちに人を誘引する、ウォーカブルな都市空間

池袋駅東口グリーン大通り広場化

東京をリードする
「国際文化都市」豊島区へ

池袋駅西口地区駅前広場

駅袋（エキブクロ）脱却
池袋駅東西を国内最大級の歩行者空間に

“ウォーカブル”な池袋の都市再生

～ 駅からまちへ、人々を誘導する魅力的な歩行者空間 ～

4公園の賑わいが新たな民間都市再生事業を牽引し、劇場都市の魅力をさらに高めるプロジェクトが進行しています。
真っ赤なIKEBUSが魅力的なスポットをゆったりと回遊し、四季を感じながら歩いてみたくなる居心地のよい歩行者空間。国際アート・カルチャー都市のメインステージとして、池袋駅周辺の都市再生が連鎖的に広がっています。

2030年に向けた中長期的なテーマ

1. 文化を基軸にしたまちづくり

・・・ 12事業　2億3千万円　24ページ

多彩な文化が息づく豊島区。2019年度から100年に一度の集中投資で完成した『国際アート・カルチャー都市』の舞台に、魂を吹き込んでいきます。

■マンガ・アニメの聖地
■東京オリンピック・パラリンピックへ向けて
■賑わいがまち全体へ

2. 子どもと女性にやさしいまちづくり

・・・ 43事業　8億1千万円　28ページ

〝3つのゼロ〞にオールとしまで取り組む！「待機児童ゼロ、児童虐待ゼロ、支援の届かない子ども・若者・家庭ゼロ」を目指し、子ども・若者や家庭を支援します。

■待機児童ゼロ　■児童虐待ゼロ　■支援の届かない子ども・若者・家庭ゼロ
■まち全体が〝支え手〞に
■次世代の学びへ向けて　学習環境の整備

3. 高齢者にやさしいまちづくり

・・・ 17事業　1億円　33ページ

誰も孤立させない、みんながいきいきと、健康で安心に暮らせるまち〞へ
75歳以上の一人暮らし高齢者の割合が日本一高い豊島区は、一人暮らしの高齢者でも安全・安心に暮らせるよう、３つの対策を推進していきます。

■社会的孤立ゼロ
■100歳健康
■一人暮らしでも安心

4. さらに安全・安心なまちづくり

・・・ 12事業　1億3千万円　36ページ

区内最大の防災公園完成！災害時の感染防止対策や繁華街の見守りを強化し、区民の皆さんの安全・安心を守ります。

■災害対応力の強化
■地域の安全・安心

事業数	事業費	うち新拡分 事業費
12事業	5億3,869万円	2億2,969万円

◆マンガの聖地　トキワ荘マンガミュージアム

トキワ荘マンガミュージアムは、昭和を代表するマンガ家たちが青春時代を過ごしたアパート「トキワ荘」の再現施設として、令和2年7月7日に開館しました。マンガ・アニメ文化継承の拠点として、魅力的な企画展の開催や、インバウンドを意識した多言語対応を実施してまいります。

▲オープニング記念式典の様子

▲当時の姿を忠実に再現した施設内観

魅力的な企画展の開催　拡充

トキワ荘ゆかりのマンガ家やマンガ作品を題材にした企画展を実施します。
将来的には現代のマンガ・アニメまで含めた企画展の開催を視野に入れ、幅広い世代のマンガ・アニメファンに対し、魅力ある企画展を実施してまいります。

開催延期中

©手塚プロダクション

上：特別企画展 【開催中】
「トキワ荘のアニキ　寺田ヒロオ」

左：特別企画展 【次回開催】
「トキワ荘と手塚治虫
－ジャングル大帝の頃－」

※1月16(土)から開催の予定でしたが、緊急事態宣言により開催を延期しています

企画展示経費等の拡充事業　3,539万円 ➡ 45ページ

◆アニメの聖地へようこそ　継続

「乙女ロード」をはじめとするポップカルチャーの発信拠点が続々と誕生し、毎年秋にはアニメ・ポップカルチャーが大集合する国内最大級のイベント「池袋オータムカルチャーフェスティバル」が開催され、多くのアニメファンが集結します。
その他にも、年間を通して世界中のアニメファンが楽しめる多彩なイベントを多数展開し、「オールとしま」でアニメの聖地・池袋を盛り上げます。

©池袋ハロウィンコスプレフェス 2020 ONLINE

▶東京アニメアワードフェスティバル

©TAAFEC All Rights Reserved. イラスト:渡辺 敦子

◆成功に向けた開催準備

新規

新型コロナウイルス感染症を乗り越え、大会を成功に導くため、オリンピック・パラリンピック聖火リレーやコミュニティライブサイト、ホストタウンとの交流の準備を「オールとしま」で進めます。

特に、池袋西口公園は、東京都と連携したスポーツと文化を楽しめる「豊島区方式のライブサイト」、区民センターでは、子どもたちをはじめ区民の皆さんが競技を快適に安心して観戦できるコミュニティライブサイトを開催します。

基本方針

1．国内外に豊島区・東京都の文化と観光の魅力を発信
2．区民の誰もが一生の思い出となる貴重な体験の場の創出

区と都が一体となった豊島区方式のライブサイト

＜池袋西口公園＞
文化とスポーツを融合した、豊島区独自のライブサイトを展開

・オリ・パラ観戦とステージイベント、ナイトライフ観光を組み合わせた施策の展開
・オリンピック聖火リレー出発式の開催

豊島区方式のライブサイトから国内外へ文化の魅力を発信

区民の誰もが一生の思い出となる貴重な体験の場

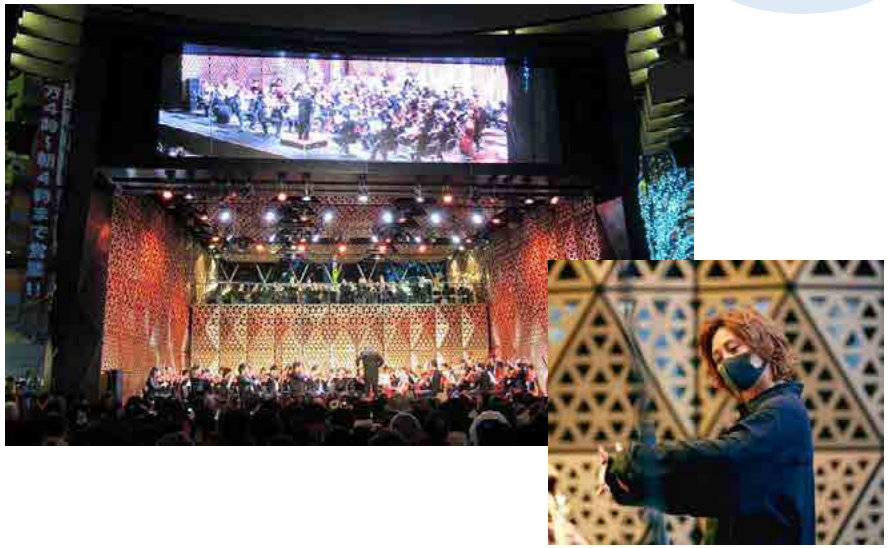
＜区民センター・中池袋公園＞
・誰もが身近な場所で、安全・安心、快適にオリ・パラを観戦
・子どもたちのパラリンピック観戦
・オリンピック聖火リレーの終点となる中池袋公園でのミニセレブレーションの開催

＜イケ・サンパーク＞
・池袋西口公園や区民センターと連携したオリ・パラ盛り上げイベントを展開

オリンピック・パラリンピック気運醸成事業
1億2,529万円　➡　45ページ

◆Tokyo Music Evening Yube

継続



▲西本智実氏©豊嶋希沙

「Tokyo Music Evening Yube」は、アフター・ザ・シアター及びナイトライフ観光の一環として、池袋西口公園野外劇場「GLOBAL RING THEATRE」で定期開催している、本格的なクラシックを堪能できる野外コンサートです。観劇やショッピングの後、公園に立ち寄って、ワインを片手にクラシック音楽を楽しむ。そんな少し贅沢な「夕べ」を、池袋で過ごすことができます。

本コンサートはYouTubeにてライブ配信・アーカイブ配信も行っていきます。

◀小林　研一郎氏

◆“あおのふるまい”　池袋駅ストリートピアノ

継続

ウイロードのリニューアルを担当した植田志保氏により描画され、“あおのふるまい”と名付けられた「ストリートピアノ」が令和3年4月以降、池袋駅に登場します。設置中は誰もが演奏可能です。

◀JR大塚駅設置時の様子

◆大塚を彩る光の演出 「光のファンタジー」

継続

大塚駅北口駅前広場に設置された大きなリングと3つのリングモニュメント。ライトアップにより、夜間の安全・安心を確保し池袋の観劇後も余韻を楽しみながら過ごすことのできる光空間を演出します。

大塚駅北口駅前広場は“ironowa hiro ba”として、地域に愛される拠点となります。

▲大きなリングと3つのリングモニュメントは、四季折々に異なる色合いを演出します。

◆文化によるまちづくりを次世代へ　新規

これまで区が進めてきた「文化によるまちづくり」を次世代に継承するため、国際アート・カルチャー都市のシンボル「Hareza池袋」の幕開けを記念し、**11月1日を「としま文化の日」**とする「としま文化の日条例」を制定しています。本条例に基づき、今後も豊島区の文化を次世代に継承するための取組を推進していきます。

▲11月1日に開催した**「としま文化の日」記念式典**の様子

▲「としま文化推進期間」に実施した事業の一つ
「民俗芸能inとしま+plus まつりのおとがきこえる」

豊島区の文化を次世代に継承するための事業

①「としま文化の日」記念事業	11月１日～７日の「としま文化推進期間」において、豊島区の文化を次世代に継承するための事業（記念式典等）を行う。 また、区民・事業者等による事業との連携を図る。
②IKE-CIRCLE	区内の文化資源（施設、文化団体、行事など）を記録・保存していくため、インタビューや実演等を撮影し、アーカイブを作成。 アーカイブは、豊島区の文化と観光をギュッと集めたWebサイト「IKE-CIRCLE」で公開する。

としま文化の日推進事業
1,000万円　➡　45ページ

◆IKEBUSアト・カルツアーの開催　新規

区内に点在する魅力的な観光スポット及び文化施設を貸切によるIKEBUSで回遊します。本ツアーは、区役所を起点として、トキワ荘マンガミュージアムや鈴木信太郎記念館等にも直接アクセスが可能となっており、IKEBUSに乗りながらにして、豊島区の魅力的スポットを堪能できるツアーコースとなっており、区内の回遊性向上に貢献します。

▲本ツアーでは、添乗員（画像右）が区内各所の解説も行っています。

ツアーコース（例）
・東コース…鈴木信太郎記念館、雑司が谷鬼子母神堂など
・西コース…熊谷守一美術館、トキワ荘マンガミュージアムなど
・不定期で季節に合わせたスペシャルコースも運行します。

文化観光施設回遊促進事業
549万円　➡　45ページ

2．子どもと女性にやさしいまちづくり　【待機児童ゼロ】

令和2年に引き続き、令和3年も待機児童ゼロの見込みです。
今後も地域毎の保育ニーズを見極めながら、必要な地域に的確に保育所を誘致することで待機児童ゼロを維持していきます。

・令和3年度4月までに私立保育園３園を誘致
　→区内私立保育所数：**69園（約4,600名分）**
・令和4年4月にさらに３園誘致予定

◆緊急1歳児受入事業と地域型保育事業における1歳児受入枠の拡充

拡充

欠員が発生しやすい4・5歳児の部屋を有効活用し、待機児童が発生しやすい1歳児を緊急的に受け入れ、事業者に対して運営費を補助します。認証保育所や居宅訪問型保育事業等と合わせて1歳児の受け入れ枠を確保します。

また、地域型保育事業者において、0歳児枠の一部を1歳児枠に振り替え、1歳児の保育サービスを拡大します。

～保育の要！保育士への支援も～

経験豊かな区立保育園園長経験者が、各施設を訪問します。
施設の運営状況や日常の保育の様子を確認しつつ、保育士へ助言や提案を実施。保育士の支援を通して、子どもたちが伸び伸び成長していける環境を整えます。

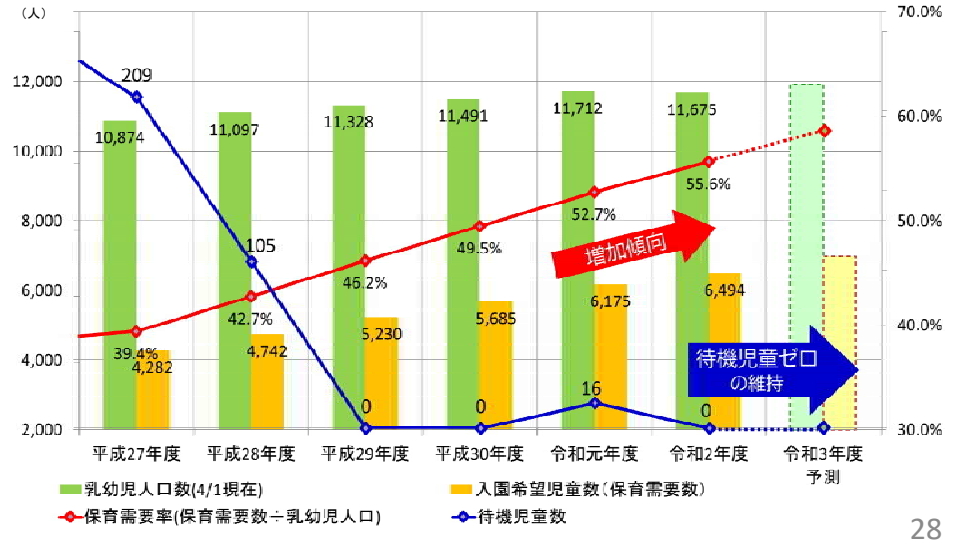
待機児童対策関係経費　8事業
7億6,292万円 ➡ 46ページ

※施設建設事業含む

事業数	事業費	うち新拡分事業費
43事業	124億3,991万円	8億768万円

私立保育所の施設整備・改修等(ｲﾆｼｬﾙｺｽﾄ)と運営費・補助金等(ﾗﾝﾆﾝｸﾞｺｽﾄ)

乳幼児人口と入園希望児童数（保育需要率と待機児童数）

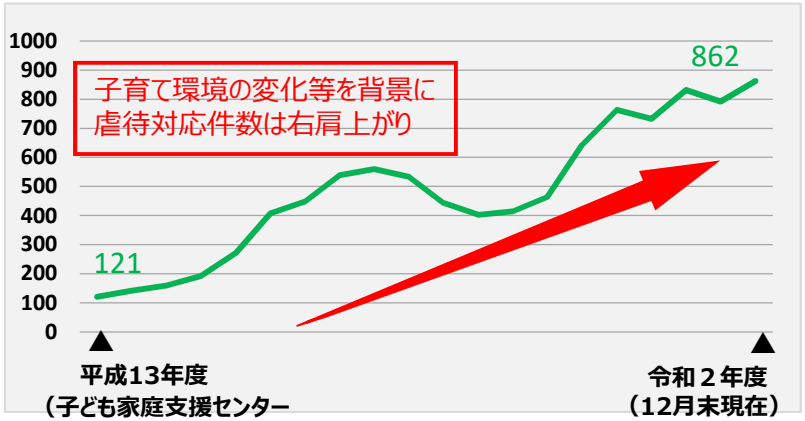


◆児童相談所開設準備を加速 令和4年度中に開設

拡充

令和4年度中に開設予定の児童相談所の専門的な支援と、従来の子ども家庭支援センターのゆるやかな見守りで、多角的かつ段階的な子育て世帯への支援体制を構築します。そのために、専門的な人材の確保と育成を進めます。

豊島区の児童虐待対応件数

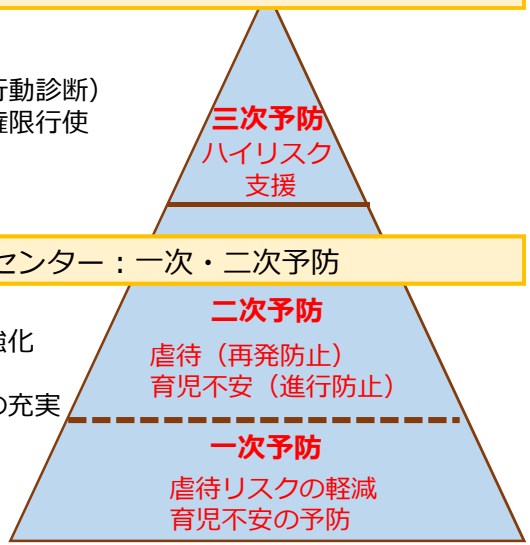


（仮称）長崎健康相談所・児童相談所等複合施設　外観イメージ

子ども家庭支援センターと児童相談所
両輪で地域の児童虐待予防を強化

児童相談所：ハイリスク支援

・専門技能を要する相談対応
（社会的・心理的・医学的・行動診断）
・一時保護や施設入所等の法的権限行使
・保護者支援や家庭復帰支援
・里親支援、養子縁組など



子ども家庭支援センター：一次・二次予防

・要保護児童対策地域協議会の強化
・育児支援サービスの充実
・アウトリーチによる相談体制の充実
・職員の育成・専門性の強化
・子育てひろばの充実
・地域団体等との連携強化など

今後の取組み

子ども家庭支援センターの充実

人材確保やヘルパー事業を拡充
身近な養育支援や相談体制を確保

■令和3年4月～
・児童虐待対応職員の人材確保・育成のため、専門職（会計年度任用職員）を増員。
・育児支援ヘルパー事業の拡充（専門職員の増員など）による養育支援の向上。
・要保護児童対策地域協議会の強化（私立学校など構成機関の拡大）

児童相談所の設置に伴う新たな児童相談体制の構築

専門性の高い人材の確保と育成

■令和3年4月～

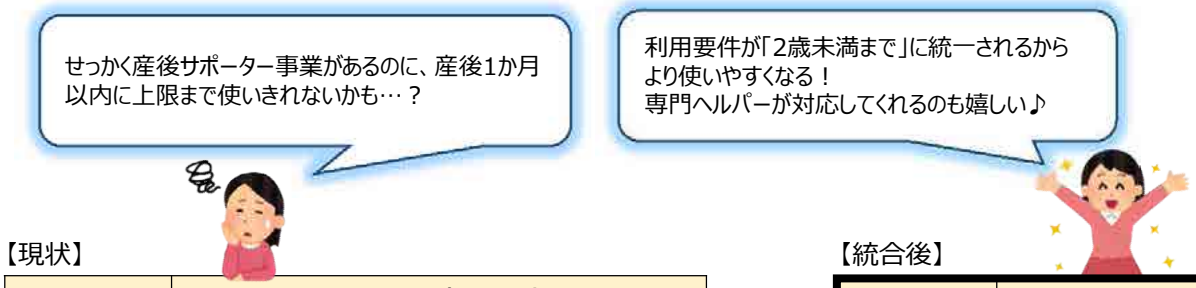
・豊富な知識と経験のある者（児童相談所長経験者等）を会計年度任用職員として採用。

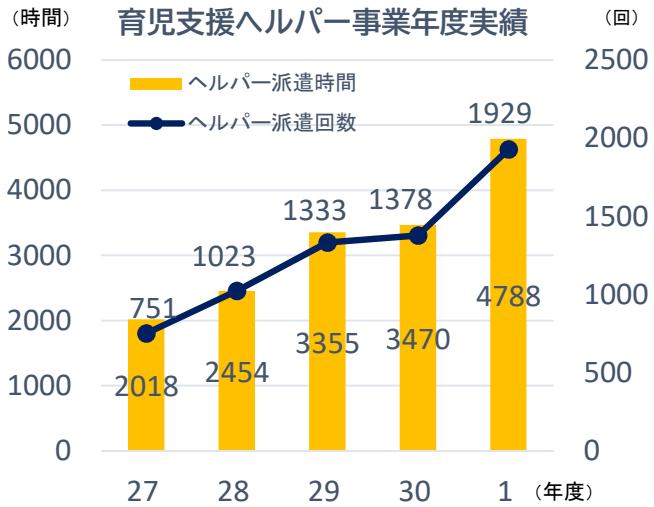
・心理職アドバイザー（児童相談業務経験者）を１名増員。

児童相談所設置準備経費　125万円 ➡ **47ページ**

◆育児支援ヘルパーの拡大　拡充

要支援家庭や、ひとり親家庭による育児支援ヘルパーの利用が大幅に増加しています。
また、新型コロナの感染拡大により、産前・産後に親族の支援が望めないケースもあります。
そのような課題に対応するため、専門の職員を増員するとともに、従来の「育児支援ヘルパー事業」と「産後サポーター事業」を統合。より分かりやすく、幅広い世帯の方に活用していただく体制を整えます。





【現状】

事業名	利用要件（時間数）
育児支援ヘルパー事業	妊娠中から2歳未満まで ・1回の妊娠につき30時間以内 ・多胎出産の場合は60時間以内 ・専門ヘルパーが対応（1時間900円）
産後サポーター事業	・退院後1か月以内に10日間（最大40時間） ・多胎出産の場合は3か月以内に25日間（最大100時間） ・有償ボランティアが対応（1時間820～920円）

2事業を統合し利用可能な時間数を合算！

【統合後】

事業名	利用要件（時間数）
育児支援ヘルパー事業	妊娠中から2歳未満まで ・1回の妊娠につき**70時間**以内 ・多胎出産の場合は**160時間**以内 ※ひとり親家庭ホームヘルプサービスの利用時間も、年間60時間から70時間に拡大。 **・専門ヘルパーが対応（1時間900円）**

育児支援ヘルパーの拡充経費　1,847万円　➡　47ページ

◆地域密着で見守り、子育て世帯を支援　新規

子ども食堂や子どもに対する宅食等の支援を行うNPO団体等への業務委託により、子どもの見守り体制を強化します。
要保護児童対策地域協議会の支援対象児童等として登録されている子ども等の居宅を訪問し、状況の把握や食品の提供を行うなかで、必要に応じた支援につなぎます。

定期的な見守り	必要な支援に連携
状況の把握 食品の提供	相談 学習支援等

支援対象児童等見守り強化事業経費　968万円　➡　47ページ

＼庁内横断で若年女性を支援！／

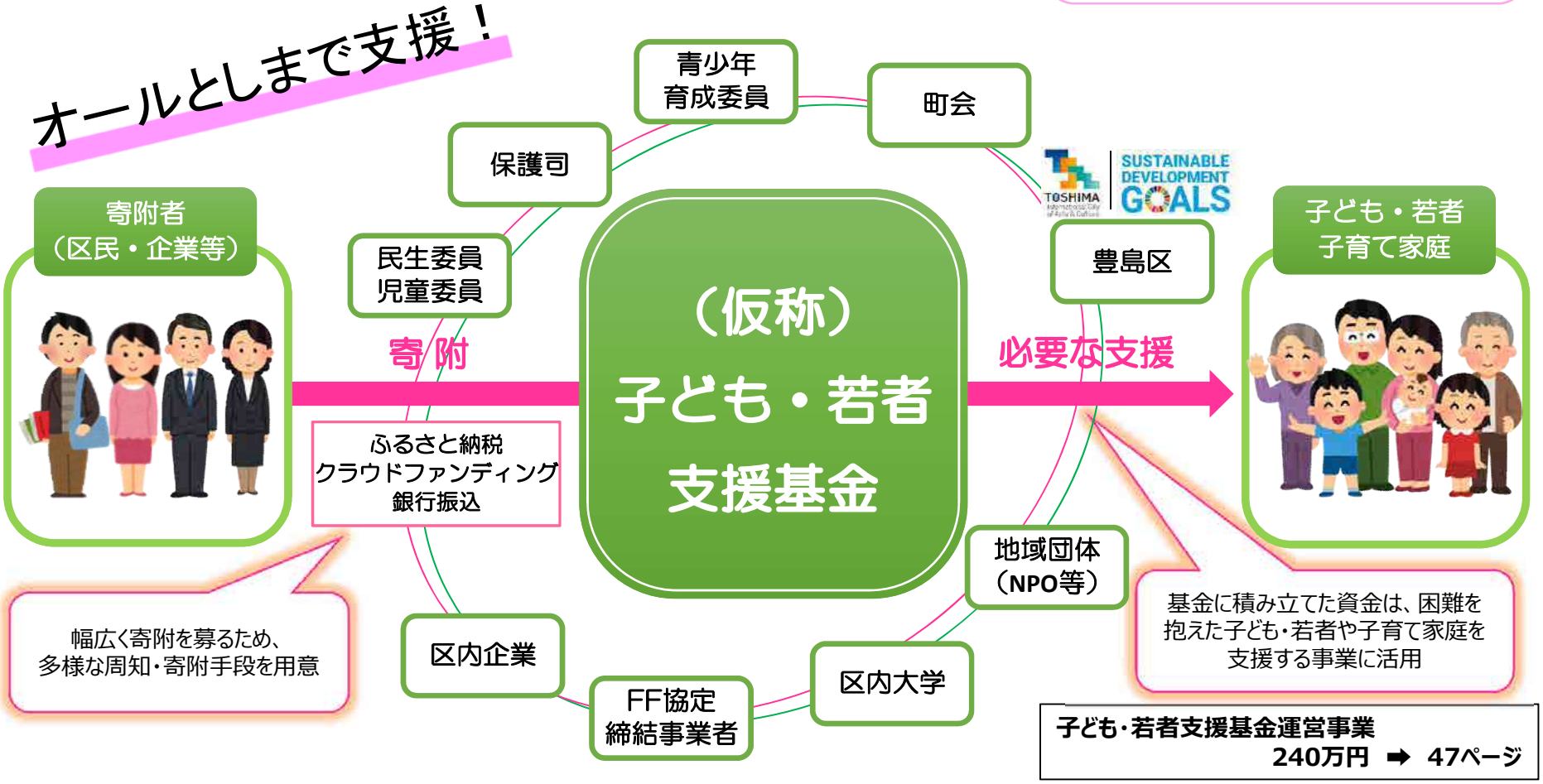
「すずらんスマイルプロジェクト」

コロナ禍において顕在化した、若年女性を取り巻く貧困、DV、自殺等の諸課題に対し、実効性のある取り組みを推進するため、保健・福祉・教育などの所管課担当者で構成する庁内横断プロジェクトチームを設置！

◆「（仮称）子ども・若者支援基金」を創設し支援の輪を広げます　新規

困難を抱えた子ども・若者やひとり親家庭などの子育て家庭を支援するための基金を創設し、支援が必要な人と支援したい人を結ぶ仕組みを構築します。
基金は寄附金によって運営し、ふるさと納税やクラウドファンディングなど様々な寄附手段を用意します。
また、区内企業や大学、地域団体等との連携により、本区の子ども家庭施策を広く発信することで、支援の輪を広げていきます。

今後の予定
令和3年　7月　基金条例制定（第2回定例会）
10月　支援事業の決定
11月　支援事業の実施



子ども・若者支援基金運営事業
240万円 ➡ 47ページ

◆GIGAスクール構想実現に向けて（再掲）

拡充

令和2年12月、全校に「活用授業例　指導略案集」を配布し、先進的な取組事例を共有しました。全ての学校・学級でタブレットを活かした目指すべき次世代の授業を行えるよう、支援しています。
また、特別支援学級では個々の習熟度に合わせた課題の実施、不登校の児童・生徒に対してLiveでの授業配信、ビデオ会議ツールでの先生との面談など、児童・生徒一人一人に合わせた対応を実施しています。

【小学校高学年での活用】
ソフトバレーの動画を撮影、チームで課題解決
・児童が、自らの動きを客観的に振り返り、課題発見や解決に向けた取組みを設定。
・仲間との対話を促すツールとして活用。

【小学校特別支援学級での活用】
個別最適化を図った算数学習
児童の個々の習熟度に応じた問題に取り組ませることで、個別の課題にあった学習支援を実施。

Chromebook端末の整備事業
2億1,949万円 ➡ 48ページ

ICT環境整備事業（ICT支援員）
653万円 ➡ 48ページ

◆「森の中の学校」　池袋第一小学校

「森の中の学校」をコンセプトとした池袋第一小学校が令和4年8月（予定）に竣工します。
区内の小学校では初となる5階建ての校舎です。最新の学習環境をはじめ、自然と触れ合える環境や防災整備を充実させ、地域のシンボルとなる学校を目指します。

年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
仮校舎	仮校舎（旧文成小学校）に通学			
新校舎	解体・改築工事		新校舎使用	

池袋第一小学校完成予想図（北側外観）▲

池袋第一小学校の改築　13億8,606万円 ➡ 52ページ

◆ウィズコロナ時代に はがきで高齢者と繋がりを

拡充

コロナにより高齢者の社会参加に影響のある中、高齢者の方へ往復はがきを送付してコロナ対策等の啓発を行うとともに、お困りごとを気軽に返信・相談できる取組を行います。

区 → 高齢者
75歳以上の全高齢者（約30,000人）に対し、往復はがきを送付する。

高齢者 → 包括
返信用はがきに、①電話番号、②気になること等を記入の上、地域ごとの高齢者総合相談センターに返信してもらう。

包括 → 高齢者
高齢者総合相談センターから高齢者に架電等を行い、困りごと等を聞き取った上で、必要に応じ継続的な支援につなげる。

▲ 令和2年度送付はがき

令和2年9月発送　30,639人
⇒約4,600人から返信
令和3年1月発送　30,029人
⇒約2,800人から返信

相談してよかった

ウィズコロナにおける高齢者呼びかけ事業
545万円 ➡ 49ページ

事業数	事業費	うち新拡分事業費
17事業	6億4,850万円	1億193万円

◆高齢者総合相談センターでの 介護予防・見守りを強化します

新規

高齢者総合相談センターを中心にして区民ひろばへの出張相談や高齢者への自宅訪問相談などを行い、介護予防と見守りの強化を進めていきます。

◀相談の様子

高齢者への出張相談・見守り強化事業
2,400万円 ➡ 49ページ

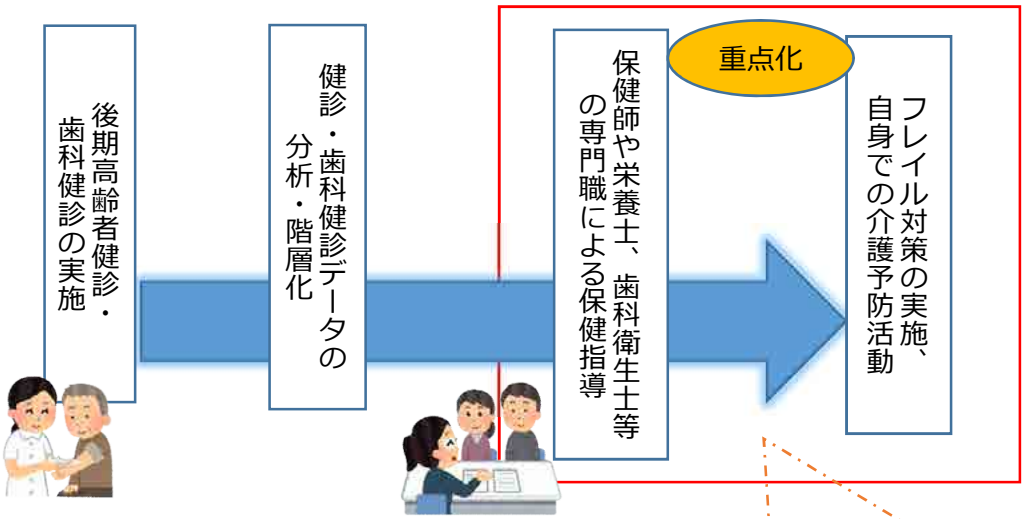
◆ひきこもり支援事業（再掲）

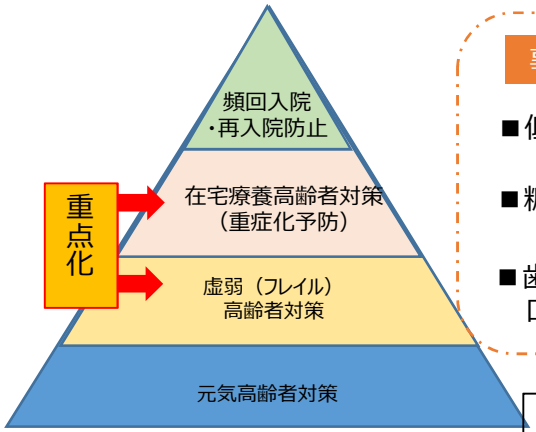
新規

ひきこもり支援事業
1,115万円 ➡ 49ページ

◆いきいきとした100歳健康づくりを推進します　新規

後期高齢者の健診データを活用し、低栄養者や糖尿病高リスク者、口腔機能低下者等への個別相談やアウトリーチなど、保健事業から介護予防事業までを一体的に実施します。





事業内容（案）

- ■低栄養対象者　個別相談 食事講習会
- ■糖尿病高リスク者　医療機関受診勧奨 栄養講習会
- ■歯科検診後の口腔機能　機能低下者の個別相談 機能維持の講習会

いきいき100歳健康づくり事業
3事業　1,163万円 ➡ 49、50ページ

◆高齢者歯科健康診査事業　拡充

76・78・80・82・84歳の区民の方を対象に、口腔機能評価を行う高齢者歯科健診を無料で実施します。２年に１度、歯や口腔内の健康状態の把握をすることで、口腔機能の低下を起因とする疾病の予防につなげます。

高齢者歯科健康診査事業　1,093万円 ➡ 50ページ

◆フレイル対策推進事業　継続

小学校区ごとに設置している22か所の「区民ひろば」にフレイル予防のための「運動機能分析装置」等の機器の設置が完了します。リハビリテーション専門職等が区民ひろばを巡回して指導します。

予防拠点の全区展開で、**身近な地域でフレイル予防**に取り組める体制を整備していきます。

▲運動機能分析装置で下半身の筋力を測定している様子

▲高田介護予防センターの様子

◆高齢者の総合相談に関する夜間緊急受付及び休日窓口の開設

拡充

これまで対応が困難だった区民からの休日相談や夜間の緊急対応に応じられるよう、24時間365日の相談対応を行い相談体制の強化を図ります。

高齢者の総合相談に関する夜間緊急受付及び休日窓口の開設
473万円　➡　49ページ

◆高齢者向け冊子「シニア×としまぐらし」発行 70歳以上高齢者に全戸配布

高齢者の福祉サービスを掲載し毎年発行していた「高齢者のてびき」を全面リニューアル！従来のサービス紹介に加え、フレイル、認知症、医療サポートから社会参加、防犯・防災まで幅広い情報を多角的に掲載し、冊子「シニア×としまぐらし」として生まれ変わります。
この「シニア×としまぐらし」を70歳以上の全区民に郵送し、コロナ禍で人との接触が減って情報が不足しがちな高齢者の皆さんに、積極的に情報をお届けします。

◆終活サポート事業

継続

区内葬祭事業者等との連携により、一人暮らし高齢者等の「終活」を支援し、老後の不安や悩みを軽減すると共に、今後の生活をより充実したものとできるように支援します。

- 終活に関する常設の相談窓口を設置し、必要な情報提供や専門家による相談等を実施
- 葬儀・納骨・遺品整理等に関する生前契約を支援
- 低所得者の方に対して、終活に係る生前契約費用の一部を助成

また、豊島区民社会福祉協議会の権利擁護支援室「サポートとしま」と連携して、認知症で生活や財産管理に不安がある方の権利擁護と終活サポート事業を一体的に実施していきます。

◆区の防災機能の中枢を担うとしまみどりの防災公園（IKE・SUNPARK）

事業数	事業費	うち新拡分事業費
12事業	2億2,990万円	1億2,874万円

深井戸
公園整備で新たに掘削された深井戸は、半径200m地域の消火が可能。

ヘリポート
DMAT（災害派遣医療チーム）や医療物資の輸送、重症患者の搬送等が可能。

応急給水槽
公園地下に100㎥の応急給水槽を設置し、断水地域への給水が可能。

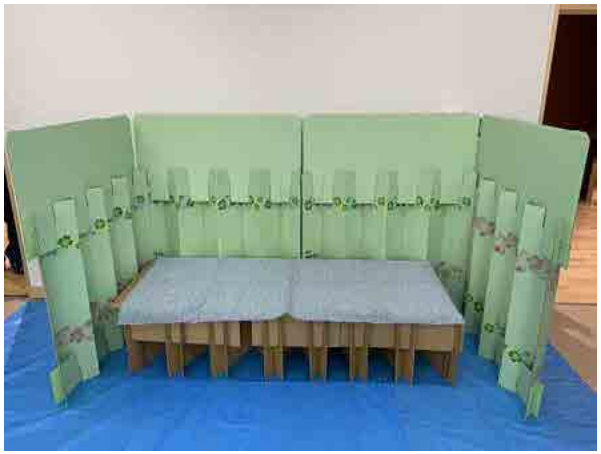
区内で最大の公園面積17,000㎡で、区立公園初の本格的なヘリポートを備えたIKE・SUNPARKは、平常時は賑わいを、災害時には区民の命を守る公園です。
令和3年度以降も、この公園の防災機能を活用し、災害発生時への備えを進めます。

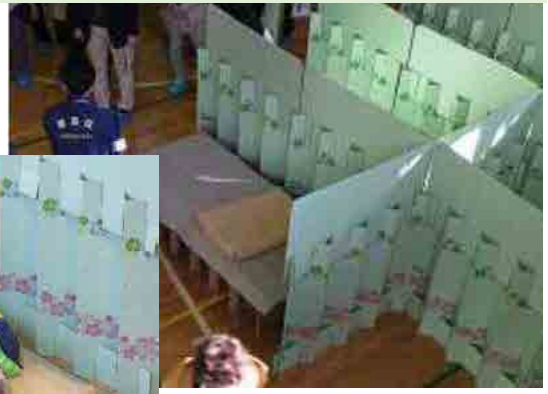
防災倉庫・災害時用トイレ
各種資器材を備えた防災倉庫、災害時でも使用可能な15基のトイレを有す。

◆避難先での感染防止対策！
救援センターに段ボール間仕切りとベッドを配備

新規

新型コロナの感染拡大の状況を踏まえ、災害時の救援センター内での飛沫感染を防ぐため、段ボール間仕切り・段ボールベッドを配備します。





感染症対策を踏まえた救援センター開設・運営訓練の様子

救援センターにおける感染症対策事業　2事業　461万円　➡ 51 ページ

◆災害直後の応急処置の要！
「緊急医療救護所」を新たに1か所の増設

新規

新たに緊急医療救護所として位置付けられた関野病院に、緊急医療救護所用の医療資器材を配備します。
また既存の緊急医療救護所を合わせた11か所にコロナ対策用資器材を配備します。

緊急医療救護所とは・・・
発災直後に病院機能を確保する為に、医師会、薬剤師会等関係機関と連携し、区内の災害拠点病院等の門前や近隣に開設し、負傷者に対するトリアージと軽症者の応急処置、中等症者、重症者の搬送調整を行うもの。

【コロナ対策資器材（緊急医療救護所11か所分）】
N95マスク　1,650枚
アルコール（500ml）　110本
非接触体温計　33本

緊急医療救護所立ち上げ（訓練）の様子

緊急医療救護所資機材等の拡充　540万円　➡ 51 ページ

◆繁華街の安全・安心を守る！ 池袋・大塚駅前等パトロール・見守り警備事業

拡充

区、地元住民、警察署の公民連携でポイ捨て・悪質客引き・路上看板禁止の注意、指導活動を実施します。繁華街全体で豊島区新型コロナウイルス感染防止の「ななま～る」ステッカーを配布し、まち全体で感染防止対策を行います。

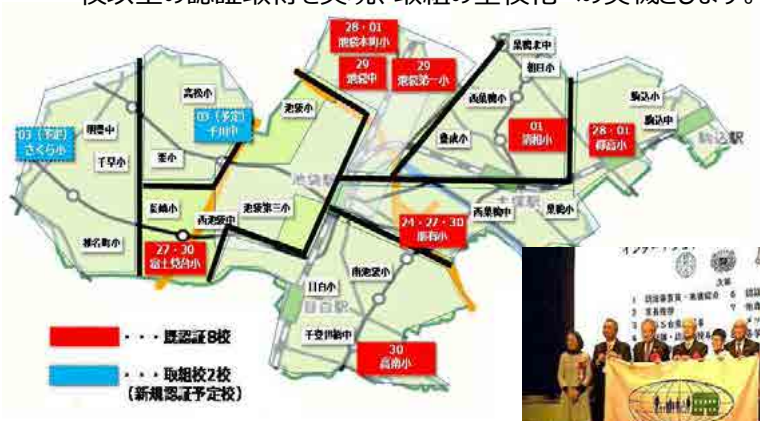
・特に客引きが多い、池袋駅・大塚駅周辺の客引き対策を強化。
・池袋駅西口駅前広場の環境浄化対策の推進。
・青色防犯灯付きパトロール車によるパトロールを強化。

繁華街警備隊の運用等
3事業　8,853万円　➡　51ページ

◆取組の全校化に向けて！ インターナショナルセーフスクール

拡充

さくら小学校、千川中学校がインターナショナルセーフスクールの新規認証申請に取り組みます。両校の認証取得により全８中学校ブロックで１校以上の認証取得を実現、取組の全校化への契機とします。



▲過去の認証式の様子

インターナショナルセーフスクール推進事業
666万円　➡　51 ページ

◆セーフコミュニティ国際認証再々取得に向けて

拡充

セーフコミュニティとは、安全・安心まちづくりの国際認証制度です。豊島区は、平成24年11月に日本で5番目、東京では初めて認証を取得し、平成30年2月に再認証を取得しました。令和４年度の再々認証取得に向け、令和３年度は本区のセーフコミュニティの取組に対する助言や評価等を得るため、海外の審査員より事前指導を受けます。

セーフコミュニティ
国際認証都市・豊島区

セーフコミュニティ推進事業　255万円　➡　51ページ

各分野の重点事業

新型コロナ対策事業

新型コロナウイルス	事業数	事業費	うち新拡分事業費
	29事業	1,422,031	1,030,255

（単位：千円）

No.	事業名	事業費	うち新拡分事業費	種別	事業概要	所管
1	感染症対策用段ボール間仕切りの購入	3,062	3,062	新規	新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、災害時の救援センター内での飛沫感染を防ぐため、段ボール間仕切りを配備する。	防災危機管理課
2	救援センター用段ボールベッドの積増	1,545	1,545	新規	新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、災害時の救援センター内での飛沫感染を防ぐため、段ボールベッドを配備する。	防災危機管理課
3	新型コロナウイルス感染症対策緊急資金の拡充	203,617	203,617	新規	事業活動に影響を受ける事業者に対する緊急資金対策として、要件を拡充し、利子補給及び信用保証料補助を行う。	生活産業課
4	新型コロナウイルス感染症対策緊急資金利子補給経費	319,212	156,116	拡充	令和2年度に「新型コロナウイルス感染症対策緊急資金」を利用した事業者に対し、利子補給を継続して行う。	生活産業課
5	新型コロナウイルス感染防止対策費用補助事業	20,000	20,000	新規	区内中小事業者の事業継続を支援するために、ガイドライン等に沿った感染症対策を行う事業者に対し補助を行う。	生活産業課
6	商店街キャッシュレス決済ポイント還元事業	40,000	40,000	新規	ＱＲコードを利用したキャッシュレス決済を面的に導入した商店街の各店舗を対象として、利用者にポイント還元（20%）を行い、消費喚起と商店街の活性化を図る。	生活産業課
7	商店街プレミアム付地域商品券補助事業	60,000	60,000	新規	商店街が企画するプレミアム付地域商品券事業に対し、かかる経費を補助する。	生活産業課
8	豊島区PCR検査センター運営委託事業	30,652	30,652	新規	新型コロナウイルス感染拡大の長期化を鑑み、PCR検査実施の需要が引き続き高いことが想定されるため、令和2年度に補正予算を計上し実施していた豊島区医師会との連携によるPCR検査センターの運営を令和3年度も継続する。	地域保健課
9	PCR検査センター運営委託事業(区内医療機関)	75,028	75,028	新規	新型コロナウイルスの感染収束まで長期を要する中、PCR検査に対する需要が引き続き高いことから、令和2年度に補正予算を計上し実施していた区内医療機関へのPCR検査センターの運営・設置委託を令和3年度も継続する。	地域保健課
10	休日診療所における感染予防体制強化	875	875	新規	休日診療所（池袋・長崎）の運営にあたり、出動医師、看護師、事務員の新型コロナウイルス感染予防策を講じるために必要な防護具等を購入する。	地域保健課

新型コロナ対策事業

No.	事業名	事業費	うち新拡分事業費	種別	事業概要	所管
11	休日診療所における電話相談等の業務委託事業	1,220	1,220	新規	池袋休日診療所と長崎休日診療所において、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い増加した電話相談等を含めた業務の増加に対応するための業務委託を医師会に委託する。	地域保健課
12	チャレンジ講演会動画配信事業	4,255	1,000	拡充	新型コロナウイルス感染症対策として三密状態となることを避けるため、これまで「知ってチャレンジ！」として実施していた講演会の一部をYouTubeでの動画配信に変更して実施する。	地域保健課
13	新型コロナウイルス感染症対策に伴う人材派遣活用	32,278	32,278	新規	新型コロナウイルス感染拡大防止対策に対応するため、人材派遣を活用し、保健師（看護師）5名・事務職員3名の派遣を令和4年3月末まで委託し、相談体制の強化を図る。	健康推進課
14	緊急医療救護所資器材等の拡充	15,318	5,400	拡充	新たに緊急医療救護所として位置付けられた関野病院に医療資器材を配備するとともに、各緊急医療救護所等にコロナ対策用資器材を配備する。	地域保健課
15	介護サービス事業者等におけるPCR検査実施事業	79,770	79,770	新規	新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、保健所等による行政検査や国・都補助の対象外となる施設職員や利用者に対するPCR検査のほか、平常時においても早期発見を目的としてPCR検査の必要経費を補助する。	介護保険課
16	障害福祉サービス事業者等におけるPCR検査実施事業	19,920	19,920	新規	新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、保健所等による行政検査や国・都補助の対象外となる施設職員や利用者に対するPCR検査のほか、平常時においても早期発見を目的としてPCR検査の必要経費を補助する。	障害福祉課
17	在宅要介護者の受入体制整備事業（高齢者分）	6,050	6,050	新規	家族が感染して在宅での生活が困難になった高齢者に対して、必要な介護等が提供できる医療機関等への受入が可能となるよう、体制を整備する。	高齢者福祉課
18	在宅要介護者の受入体制整備事業（障害者分）	7,336	7,336	新規	家族が感染して自宅での生活が困難になった障害者に対して、必要な障害福祉サービスが提供できる施設への入所が可能となるよう、受入体制の整備を行う。	障害福祉課
19	ウィズコロナにおける高齢者への呼びかけ事業	5,452	5,452	新規	75歳以上の全高齢者へ、往復はがきを送付し新型コロナウイルス感染症対策の啓発を行うとともに、相談窓口の案内を行い、返信されたハガキをもとに高齢者の困りごとを把握し、相談支援へとつなげる。	高齢者福祉課
20	住居確保給付金（派遣職員の配置）	4,094	4,094	新規	新型コロナウイルスによる減収の方も対象となり、相談者が急増したため、事務処理体制を強化するため派遣職員を配置する。	福祉総務課
21	住居確保給付金（通訳タブレット）	1,231	1,231	新規	新型コロナウイルスによる減収の方も対象となり、相談者が急増し、その3割が外国籍の方であるため、通訳タブレットを用意し、相談体制を整える。	福祉総務課
22	子ども食堂推進事業	4,124	3,900	拡充	区内で活動する「子ども食堂」に対し、補助金を交付することで安定的な実施環境を整備し、地域に根差した活動を支援する。	子ども若者課

新型コロナ対策事業

No.	事業名	事業費	うち新拡分事業費	種別	事業概要	所管
23	支援対象児童等見守り強化事業	9,676	9,676	新規	新型コロナウィルス感染症の影響による外出自粛等に伴う児童虐待の増加リスクに対応するため、食品の提供等を通じた子どもの見守り体制を構築する事業を、民間団体への業務委託により実施する。	子育て支援課
24	子ども関連施設等に勤務する職員のPCR検査事業	26,460	26,460	新規	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、区内の認可保育園等を対象に、希望する従事者が無料でPCR検査を受けられるよう、区の負担で検査を実施する。	保育課
25	子ども関連施設等に勤務する職員のPCR検査事業	7,770	7,770	新規	区立幼稚園、区立小・中学校、子どもスキップ、教育センターに勤務する検査希望者に対し、無償でＰＣＲ検査を実施する。	学務課 放課後対策課
26	Chromebook端末の整備事業	402,327	219,487	拡充	令和3年度の児童・生徒数の増加分、教員用として各クラス１台配備分、追加購入した端末のランニングコストと合わせ、関連機器の購入等を進める。	庶務課
27	ICT環境整備事業（ICT支援員）	38,977	6,534	拡充	令和2年度の児童生徒一人１台端末整備に伴い、タブレットパソコンを最大限に有効活用するために、ICT支援員を増員し、支援の充実を図る。	庶務課
その他２事業		1,782	1,782			

SDGs推進事業（主な事業）

	事業数	事業費	うち新拡分事業費
SDG s 推進（主な事業）	11事業	158,662	153,504

（単位：千円）

No.	事業名	事業費	うち新拡分事業費	種別	事業概要	所管
1	SDGs未来都市推進事業	20,000	20,000	新規	消滅可能性都市を脱却し、都内初の「SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業」に認定された自治体として、公と民が一体となってSDGs実現に向けて取り組むために、普及啓発等の様々な事業を展開していく。	企画課（SDGs未来都市調整担当）
2	東アジア文化都市交流事業	9,800	9,800	新規	「東アジア文化都市2019豊島」のレガシーを継承し、文化・観光分野における国際交流を深めながら、3都市における相互理解を引き続き促進するとともに、国内外に向けて本区の魅力を発信していく。	企画課（国際文化プロジェクト推進室）
3	憲法・非核平和・人権思想周知関係事業（戦後75周年事業）	1,779	1,779	新規	新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度に実施できなかった戦後75年事業を、令和3年度に75周年事業として、戦争関連の資料の展示や映画上映会を実施する。	総務課
4	区民ひろばにおけるSDGsの取り組み	3,000	3,000	新規	区民ひろばにおいて、区民向けにSDGsの啓発活動を実施する。	地域区民ひろば課
5	ファーマーズマーケット事業	70,000	70,000	新規	イケ・サンパークで実施しているファーマーズマーケット事業実施に必要な経費	生活産業課
6	もっときれいな街づくり推進事業	12,123	12,123	拡充	池袋駅周辺の環境美化向上のため、社会貢献意欲の高い高齢者で組織する「としまシルバースターズ」が清掃活動を行うとともに、啓発活動を行う。	環境保全課
7	プラスチック製容器包装の完全分別収集導入事業	5,236	5,236	新規	ペットボトルと食品用トレー・ボトル容器以外の、現在燃やすごみとしているプラスチック製容器包装を資源として分別収集することについて導入に向けた調査を行う。	ごみ減量推進課
8	ひきこもり支援事業	11,150	11,150	新規	ひきこもりの状態にある方またはその疑いのある対象者数及び支援の状況を調査し、その結果・分析をもとにアウトリーチ等の支援を開始するとともに、相談窓口の周知及び関係課や関係機関の支援員等への研修を行う。	福祉総務課
9	子ども・若者支援基金運営事業	2,400	2,400	新規	困難を抱えた子ども・若者やひとり親家庭など子育て家庭を支援するための基金を創設する。ふるさと納税やクラウドファンディングを活用し、幅広い層に寄附文化を醸成する。令和３年第２回定例会を目途に、基金条例を制定する予定。	子ども若者課
10	中小規模公園活用プロジェクト「ともに育つ公園」	7,874	2,716	拡充	中小規模公園を対象とし、ニーズ調査やヒアリング等を経て、新たな公園の管理方法を検討する。	公園緑地課
11	インクルーシブな公園づくり事業	15,300	15,300	新規	誰もが遊びやすい公園を実現するため、インクルーシブ遊具を整備する。	公園緑地課

デジタル化推進事業

デジタル化	事業数	事業費	うち新拡分事業費
	10事業	514,795	296,257

（単位：千円）

No.	事業名	事業費	うち新拡分事業費	種別	事業概要	所管
1	デジタル化推進員の任用	3,000	3,000	新規	デジタル化戦略を進めるにあたり、デジタル化を推進する職員の育成および、システム導入、変更について専門的な見地から助言・提言等ができる人材を民間から登用する。	情報管理課
2	公文書管理システム構築業務委託事業	23,551	23,551	新規	「豊島区公文書等の管理に関する条例」の施行により、適正な文書管理のための機能等を充実させた新たな公文書管理システムを構築する。	総務課
3	おくやみコーナーの開設	9,997	9,997	新規	本庁舎内に身近な方がお亡くなりになった後の様々な手続きについて案内する専用窓口を設け、必要な手続きを抽出し、申請書作成の補助を行う。	総合窓口課
4	マイナポイント予約・申込支援事業	20,790	20,790	新規	マイナポイントの予約・申込が困難な区民に対し、支援窓口にて予約・申込のサポートを行う。	総合窓口課
5	チャレンジ講演会動画配信事業 【再掲】	4,255	1,000	拡充	新型コロナウイルス感染症対策として三密状態となることを避けるため、これまで「知ってチャレンジ！」として実施していた講演会の一部をYouTubeでの動画配信に変更して実施する。	地域保健課
6	区立保育園午睡チェック機器の導入事業	2,902	2,902	新規	乳幼児突然死症候群を防ぐとともに、保育士の負担を軽減するため、午睡時の児童の呼吸等の確認のできる機器（ベビーセンサー）を区立園（公設公営）に試行的に導入する。	保育課
7	区立保育園ICTの導入事業	8,254	8,254	新規	保育士の業務効率化を図ることにより保育士の負担を軽減し、保育の質を向上させるため、登降園管理機能等を有したＩＣＴ機器を試行的に導入する。	保育課
8	Chromebook端末の整備事業 【再掲】	402,327	219,487	拡充	令和3年度の児童・生徒数の増加分、教員用として各クラス１台配備分、追加購入した端末のランニングコストと合わせ、関連機器の購入等を進める。	庶務課
9	ICT環境整備事業（ICT支援員） 【再掲】	38,977	6,534	拡充	令和2年度の児童生徒一人１台端末整備に伴い、タブレットパソコンを最大限に有効活用するために、ICT支援員を増員し、支援の充実を図る。	庶務課
10	オンラインによる委員会等の実施	742	742	新規	新型コロナウイルス感染症の拡大等により、区議会議員が委員会室等への参集が困難な状況になった場合でも、委員会等を開催し必要な審査や協議が行えるよう、オンラインによる委員会等の実施に向けた環境の整備を行う。	議会総務課

文化を基軸にしたまちづくり

文化を基軸にしたまちづくり	事業数	事業費	うち新拡分事業費
	12事業	538,689	229,687

（単位：千円）

No.	事業名	事業費	うち新拡分事業費	種別	事業概要	所管
1	東アジア文化都市交流事業【再掲】	9,800	9,800	新規	「東アジア文化都市2019豊島」のレガシーを継承し、文化・観光分野における国際交流を深めながら、3都市における相互理解を引き続き促進するとともに、国内外に向けて本区の魅力を発信していく。	企画課（国際文化プロジェクト推進室）
2	文化観光施設回遊促進事業	5,488	5,488	新規	区内観光スポット及び文化施設をIKEBUSで回遊することで、としまブランド及び多様な文化観光資源へのアクセスを改善し、文化観光振興及びコロナ終息後のインバウンドに資する。	文化観光課
3	トキワ荘マンガミュージアム誘客促進事業（企画展示経費等の拡充）	174,525	35,390	拡充	令和2年7月7日、トキワ荘マンガミュージアムが開館。マンガ文化継承の拠点として、展示内容を充実させ、より魅力的な企画展の開催に取り組む。	文化観光課（トキワ荘マンガミュージアム担当）
4	トキワ荘マンガミュージアム誘客促進事業（多言語対応等環境整備）	27,350	27,350	新規	東京オリンピック・パラリンピックに向けたインバウンド対策として、HP等の広報媒体および館内展示の多言語化を図る。	文化観光課（トキワ荘マンガミュージアム担当）
5	としま文化の日推進事業	10,000	10,000	新規	としま文化の日条例に基づく取組（表彰、記念事業など）を推進し、豊島区の文化を次世代に継承する。	文化デザイン課
6	TACTフェスティバル開催支援事業	3,000	3,000	新規	TACTフェスティバル2021（主催：東京芸術劇場・東京都・豊島区）において、池袋西口公園野外劇場を会場とする屋外プログラムの開催を支援し、にぎわいを創出する。	文化デザイン課
7	舞台芸術交流センター 舞台備品の更新経費	175,011	5,144	拡充	舞台芸術交流センター（あうるすぽっと）のワイヤレスマイクの更新を実施する。	文化デザイン課
8	オリンピック・パラリンピック気運醸成事業	125,286	125,286	新規	2021年に延期となった東京オリンピック・パラリンピック競技大会の気運醸成を図るとともに、組織委員会や東京都、豊島区体育協会・レクリエーション協会などと連携して、開催準備に取り組み、大会を成功に導く。	学習・スポーツ課
9	福祉×文化　家族草子プロジェクト事業	2,000	2,000	新規	家族をテーマとする朗読劇「家族草子」との連動企画として、朗読劇に関するワークショップ等を開催し、「福祉と文化の融合」によるフレイル対策・外出促進を図る。	総合高齢社会対策推進室
10	雑司ヶ谷鬼子母神堂　東京都指定有形文化財絵馬修復事業	863	863	新規	雑司ヶ谷鬼子母神内に保存されている都指定有形文化財の絵馬2点の修復作業を行う。	庶務課
その他２事業		5,366	5,366			

子どもと女性にやさしいまちづくり

子どもと女性にやさしいまちづくり	事業数	事業費	うち新拡分事業費
	43事業	12,439,908	807,676

（単位：千円）

No.	事業名	事業費	うち新拡分事業費	種別	事業概要	所管
1	緊急1歳児受入事業	23,040	23,040	拡充	4・5歳児の部屋等の空きスペースを有効活用して、待機児童の発生しやすい1歳児を緊急的に受け入れるための運営費を補助する。	保育課（保育政策担当）
2	地域型保育事業における１歳児受入枠拡充事業	9,507	9,507	拡充	地域型保育事業において、0歳児枠を１歳児枠に振り替え、受け入れた事業者に対し、0歳児単価と1歳児単価の差額を補てんすることで、1歳児の受入を増やす。	保育課（保育政策担当）
3	私立保育所に対する保育委託及び助成事業（扶助費）	10,053,401	273,032	拡充	子ども・子育て支援法第27条により、国が定める公定価格の統一基準に基づいて各自治体が支払う経費（扶助費） （令和3年4月以降開設園2園分）	保育課（保育政策担当）
4	私立保育所に対する保育委託及び助成事業（扶助費以外）	604,850	20,023	拡充	①公定価格の賃借料加算に上乗せした賃料補助を行う。 （令和3年4月以降開設園1園分） ②園児のための眼科検診、耳鼻科検診、腎臓検診を実施する。 （令和3年4月以降開設園2園分）	保育課（保育政策担当）
5	キャリアアップ補助金補助事業	353,488	6,835	拡充	保育従事者の処遇を改善するとともに、保育士等のキャリアアップに向けた取り組みがより一層図られることを支援する補助を行う。 （令和3年4月以降開設園1園分）	保育課（保育政策担当）
6	保育従事職員宿舎借り上げ支援事業	389,803	13,776	拡充	保育従事職員用の宿舎の借り上げを行う保育所に対して、保育人材の確保、定着及び離職防止を目的とした補助を行う。 （令和3年4月以降開設園2園分）	保育課（保育政策担当）
7	保育サービス推進事業	116,087	1,709	拡充	多様なニーズや地域子育て支援等、地域実情に応じた保育サービスの向上に向けた事業者の取り組みに対して補助をする。 （令和3年4月以降開設園1園分）	保育課（保育政策担当）

【参考：施設建設事業（待機児童対策関連）】

	私立保育所誘致関係経費（新規開設分）	414,993	414,993	新規	認可保育所運営事業者に対し、開設にかかる施設整備等の助成を行う。	保育課（保育政策担当）

待機児童対策関連事業　8事業（施設建設事業含む）・・・新規拡充分　762,915千円

子どもと女性にやさしいまちづくり

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	種別	事業概要	所管
8	「わたしらしく、暮らせるまち。」推進事業	1,152	1,152	新規	「としまぐらし会議」やFFパートナーシップ協定、中小規模公園活用プロジェクト等、様々な公民連携及び部局間連携による施策の展開・強化を図る。	企画課（「わたしらしく、暮らせるまち。」推進室）
9	多胎児家庭移動経費補助事業	10,819	1,560	拡充	3歳未満の多胎児がいる世帯に対して、母子保健事業利用時の移動経費を補助する。0歳、1歳、2歳時に面接を受けることを要件とし、多胎児家庭の状況を把握し、必要に応じて支援につなげる。	健康推進課
10	子ども食堂推進事業【再掲】	4,124	3,900	拡充	区内で活動する「子ども食堂」に対し、補助金を交付することで安定的な実施環境を整備し、地域に根差した活動を支援する。	子ども若者課
11	子ども・若者支援基金運営事業【再掲】	2,400	2,400	新規	困難を抱えた子ども・若者やひとり親家庭など子育て家庭を支援するための基金を創設する。ふるさと納税やクラウドファンディングを活用し、幅広い層に寄附文化を醸成する。令和３年第２回定例会を目途に、基金条例を制定する予定。	子ども若者課
12	支援対象児童等見守り強化事業【再掲】	9,676	9,676	新規	新型コロナウィルス感染症の影響による外出自粛等に伴う児童虐待の増加リスクに対応するため、食品の提供等を通じた子どもの見守り体制を構築する事業を、民間団体への業務委託により実施する。	子育て支援課
13	育児支援ヘルパー事業の拡充	32,059	18,471	拡充	需要の増加に対応するため、実施体制を拡充する。産後サポーター事業を統合するとともに、養育支援及びアウトリーチの強化を図る。	子育て支援課
14	児童虐待対応力強化事業	8,848	8,848	新規	虐待対応協力員（会計年度任用職員）を2名採用、育成し、児童虐待の早期発見、重篤化防止の強化を図る	子育て支援課
15	児童相談所設置準備事業	6,205	1,247	拡充	①児童相談所での勤務経験と高度な専門知識のある者を会計年度職員（「児童相談所開設準備専門員」）として採用し、準備業務を更に進めるとともに、②東京都児童相談所で心理職経験者を心理職アドバイザーとして迎え、新規心理職の育成強化を図る。	子育て支援課
16	巡回子育て発達事業	3,113	1,440	拡充	経験豊かなアドバイザーが職員への専門的知識、事業のあり方、障害児審査会、保育園入所のための面談などのアドバイスにより、質の向上を図る。また、各施設・センターなどで、保護者の個別面談も担当する。	子育て支援課
17	区立保育園午睡チェック機器の導入事業【再掲】	2,902	2,902	新規	乳幼児突然死症候群を防ぐとともに、保育士の負担を軽減するため、午睡時の児童の呼吸等の確認のできる機器（ベビーセンサー）を区立園（公設公営）に試行的に導入する。	保育課
18	区立保育園ICTの導入事業【再掲】	8,254	8,254	新規	保育士の業務効率化を図ることにより保育士の負担を軽減し、保育の質を向上させるため、登降園管理機能等を有したＩＣＴ機器を試行的に導入する。	保育課
19	子ども関連施設等に勤務する職員のPCR検査事業【再掲】	26,460	26,460	新規	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、区内の認可保育園等を対象に、希望する従事者が無料でPCR検査を受けられるよう、区の負担で検査を実施する。	保育課
20	公立保育園における収納チャネルの拡大	612	612	新規	現在区立保育園で現金で収納している延長保育料（スポット）、ふれあい体験給食、一時保育料について、電子マネーやクレジット等現金以外の新たな収納方法を導入する。	保育課

子どもと女性にやさしいまちづくり

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	種別	事業概要	所管
21	公立保育園の民営化推進事業	25,013	24,338	拡充	公立保育園の令和4年度及び令和5年度からの民営化に向けて、民営化の前々年度に選定審査会で保育事業者の決定を、前年度に保育引継ぎを行う。	保育課（保育政策担当）
22	地域型保育事業における一時保育事業	1,800	1,800	新規	地域型保育事業1施設において、併設の障害児保育園が閉園するにあたり、空いたスペースにて、定員3名の一時保育事業を実施する。	保育課（保育政策担当）
23	中小規模公園活用プロジェクト「ともに育つ公園」【再掲】	7,874	2,716	拡充	中小規模公園を対象とし、ニーズ調査やヒアリング等を経て、新たな公園の管理方法を検討する。	公園緑地課
24	インクルーシブな公園づくり事業【再掲】	15,300	15,300	新規	誰もが遊びやすい公園を実現するため、インクルーシブ遊具を区内公園へと整備する。	公園緑地課
25	Chromebook端末の整備事業【再掲】	402,327	219,487	拡充	令和3年度の児童・生徒数の増加分、教員用として各クラス１台配備分、追加購入した端末のランニングコストと合わせ、関連機器の購入等を進める。	庶務課
26	ICT環境整備事業（ICT支援員）【再掲】	38,977	6,534	拡充	令和2年度の児童生徒一人１台端末整備に伴い、タブレットパソコンを最大限に有効活用するために、ICT支援員を増員し、支援の充実を図る。	庶務課
27	コミュニティ・スクール導入等促進事業	875	125	拡充	検討委員会における豊島区の地域にあったコミュニティ・スクールの仕組みの検討にあわせ、既存のモデル事業校２校の法定化を目指す。また、新規モデル事業校を１校拡大する。	庶務課（教育施策推進担当）
28	インターナショナルセーフスクール推進事業	6,655	6,655	拡充	新型コロナウィルス感染症の影響により、令和2年度から3年度に認証申請を延期した、ISSの初認証2校（さくら小・千川中）・再認証2校（池一小・池袋中）の認証申請を行う。	庶務課（教育施策推進担当）
29	子ども関連施設等に勤務する職員のPCR検査事業【再掲】	7,770	7,770	新規	区立幼稚園、区立小・中学校、子どもスキップ、教育センターに勤務する検査希望者に対し、無償でＰＣＲ検査を実施する。	学務課 放課後対策課
30	子どもスキップAED設置事業	349	349	新規	AEDが未設置である子どもスキップ21施設のうち4施設について、自動体外式除細動器(AED) をリース(長期継続契約)により整備する。	放課後対策課
31	子どもスキップ施設管理事業	5,320	5,200	拡充	子どもスキップの修繕等を担う職員の退職により、作業場の撤収とあわせ、民間委託に切り替える。さらに修繕等に必要な部品、また修繕不能なものは代替品を購入する。	放課後対策課 学校施設課
その他12事業		5,366	5,366			

高齢者にやさしいまちづくり

高齢者にやさしいまちづくり	事業数	事業費	うち新拡分事業費
	17事業	648,500	101,931

（単位：千円）

No.	事業名	事業費	うち新拡分事業費	種別	事業概要	所管
1	糖尿病性腎症重症化予防事業	38,024	4,624	拡充	特定健診受診者で糖尿病性腎症が疑われる者に、アルブミン尿検査を実施し、医師の指示のもと、面接にて管理栄養士等による保健指導（栄養指導など）を行い、6か月間の電話による支援を行う。	地域保健課
2	ひきこもり支援事業【再掲】	11,150	11,150	新規	ひきこもりの状態にある方またはその疑いのある対象者数及び支援の状況を調査し、その結果・分析をもとにアウトリーチ等の支援を開始するとともに、相談窓口の周知及び関係課や関係機関の支援員等への研修を行う。	福祉総務課
3	ウィズコロナにおける高齢者への呼びかけ事業【再掲】	5,452	5,452	新規	75歳以上の全高齢者へ、往復はがきを送付し新型コロナウイルス感染症対策の啓発を行うとともに、相談窓口の案内を行い、返信されたハガキをもとに高齢者の困りごとを把握し、相談支援へとつなげる。	高齢者福祉課
4	高齢者への出張相談・見守り強化事業	24,000	24,000	新規	ウィズコロナにおける高齢者への呼びかけ事業で返信がない人へのアウトリーチやコロナの影響による相談業務の増加に対応するため、高齢者総合相談センターの人員を増員し、高齢者の見守りを強化する。	高齢者福祉課
5	高齢者の総合相談に関する夜間緊急受付及び休日窓口の開設	367,151	4,728	拡充	区民からの連休中や夜間の緊急対応に応じられるよう、夜間の緊急時対応及び休日相談窓口を開設する。	高齢者福祉課
6	生活支援体制整備事業（第２層生活支援コーディネーター事業）	16,000	16,000	新規	4つの包括圏域に１人ずつ第2層生活支援コーディネーターを配置し、地域包括支援センターや民生委員、CSWと連携をとり、介護予防や生活支援に関する地域に不足している資源の開発や掘り出し、ネットワーク化を推進する。	高齢者福祉課
7	高齢者への救急医療情報キット配付事業	714	714	新規	本人の医療情報や緊急連絡先等を記載し、冷蔵庫に保管できる救急医療情報キットを希望する高齢者に配付し、在宅生活を支援する。	高齢者福祉課
8	高齢者住宅火災代理通報	16,724	2,139	拡充	現行の消防直接型火災安全システムでは、利用にあたって原則として協力者の設置が必要であるが、協力者が不要な、民間代理型の通報システムを追加することにより制度の一層の普及を図る。	高齢者福祉課
9	高齢者あんしん位置情報サービス利用料助成事業	3,071	2,547	拡充	現行の位置情報サービスの利用者拡大のために現場急行サービスを付加するとともに、現行、介護保険料所得段階1～3が自己負担なしとなるがこれを1～5まで拡大する。	高齢者福祉課
10	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施（いきいき100歳健康づくり事業）	10,407	10,407	新規	東京都後期高齢者医療広域連合の委託を受け、低栄養対象者や糖尿病高リスク者、口腔機能低下者等への個別相談やアウトリーチなど、後期高齢者の健診データを活用した保健事業と介護予防事業を一体的に実施する。	高齢者福祉課

高齢者にやさしいまちづくり

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	種別	事業概要	所管
11	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施（糖尿病重症化予防事業）	1,042	1,042	新規	長寿健診受診者のうち、糖尿病高リスク者への電話勧奨および保健指導を行う。	地域保健課
12	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施（KDB端末用プリンタ等の購入）	184	184	新規	後期高齢者の保健事業を、介護予防事業と一体的に実施するためのKDB端末用プリンタ等の購入経費。	高齢者医療年金課
13	福祉×文化　家族草子プロジェクト事業【再掲】	2,000	2,000	新規	家族をテーマとする朗読劇「家族草子」との連動企画として、朗読劇に関するワークショップ等を開催し、「福祉と文化の融合」によるフレイル対策・外出促進を図る。	総合高齢社会対策推進室
14	選択的介護普及事業	3,633	3,633	新規	3年間のモデル実施期間の成果・課題を踏まえて、高齢者の在宅生活を支援するサービスとして選択的介護のさらなる普及・拡大のために、事業者やケアマネジャー等に対して必要な支援を実施する。	介護保険課
15	特定健康診査・福祉健康診査胸部X線拡充事業	114,361	1,686	拡充	特定健康診査及び福祉健康診査の胸部X線について、61歳と63歳を新たに対象とする。	地域保健課
16	高齢者歯科健康診査事業	33,887	10,925	拡充	76～84歳の偶数年齢の区民に対し、医療機関において口腔機能評価を実施、歯科衛生士による追跡調査、集計を行う。	地域保健課
17	高齢者安全運転支援装置設置促進事業	700	700	新規	東京都が費用の5割を補助している安全運転支援装置の購入・設置補助事業に加え、区は独自に安全運転支援装置の購入・設置を促進するため、購入・設置費用の1割に対して補助を行う。	土木管理課

さらに安全・安心なまちづくり

安全・安心なまちづくり	事業数	事業費	うち新拡分事業費
	12事業	229,895	128,741

（単位：千円）

No.	事業名	事業費	うち新拡分事業費	種別	事業概要	所管
1	セーフコミュニティ推進事業（国際認証の再々取得）	5,243	2,552	拡充	セーフコミュニティ国際認証の再々取得に向けた事前指導を受け、令和4年度の再々認証取得を目指す。	行政経営課（セーフコミュニティ推進室）
2	感染症対策用段ボール間仕切りの購入【再掲】	3,062	3,062	新規	新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、災害時の救援センター内での飛沫感染を防ぐため、段ボール間仕切りを配備する。	防災危機管理課
3	救援センター用段ボールベッドの積増【再掲】	1,545	1,545	新規	新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、災害時の救援センター内での飛沫感染を防ぐため、段ボールベッドを配備する。	防災危機管理課
4	計測震度計の交換	10,160	10,160	新規	計測震度計を交換する経費を計上する。	防災危機管理課
5	救援センター用女性用衛生用品の備蓄	2,139	2,139	新規	災害時に備え、全ての救援センターに女性用衛生用品（生理用品）の備蓄を行う。	防災危機管理課
6	青色パトロール車の運用	32,064	3,001	拡充	区で委託する警備員が青色パトロール車に乗車し、区内全域を巡回並びに立ち寄り、警戒・広報活動を実施する。	防災危機管理課（治安対策担当）
7	繁華街警備隊の運用	65,009	5,527	拡充	区内繁華街において徒歩によるパトロールを実施し、悪質客引き行為者に対して注意、指導活動を実施する。	防災危機管理課（治安対策担当）
8	池袋駅西口駅前広場・大塚駅周辺地区警戒業務委託	80,000	80,000	新規	池袋駅西口駅前広場及び大塚駅周辺地区に委託警備隊員を適宜配置し、来街者に対する注意喚起・啓発広報を実施するとともに、行為者に対する注意・協力要請及び悪質行為防止のための見張りを行う。	防災危機管理課（治安対策担当）
9	緊急医療救護所資器材等の拡充【再掲】	15,318	5,400	拡充	新たに緊急医療救護所として位置付けられた関野病院に医療資器材を配備するとともに、各緊急医療救護所等にコロナ対策用資器材を配備する。	地域保健課
10	特定緊急輸送道路沿道建築物耐震改修助成事業	8,000	8,000	新規	特定緊急輸送道路沿道の賃貸建築物への耐震改修助成金に、占有者加算を新たに設定する。所有者が耐震化工事を実施する際に発生する追加費用（移転費用等）の負担を軽減し、所有者の耐震化実施をさらに後押しする。	建築課
11	高齢者安全運転支援装置設置促進事業	700	700	新規	東京都が費用の5割を補助している安全運転支援装置の購入・設置補助事業に加え、区は独自に安全運転支援装置の購入・設置を促進するため、購入・設置費用の1割に対して補助を行う。	土木管理課
12	インターナショナルセーフスクール推進事業【再掲】	6,655	6,655	拡充	新型コロナウィルス感染症の影響により、令和2年度から3年度に認証申請を延期した、ISSの初認証2校（さくら小・千川中）・再認証2校（池一小・池袋中）の認証申請を行う。	庶務課（教育施策推進担当）

次世代を担う子供を育む教育

次世代の学びを育む教育	事業数	事業費	うち新拡分事業費
	28事業	3,973,098	3,673,914

（単位：千円）

No.	事業名	事業費	うち新拡分事業費	種別	事業概要	所管
1	Chromebook端末の整備事業【再掲】	402,327	219,487	拡充	令和3年度の児童・生徒数の増加分、教員用として各クラス１台配備分、追加購入した端末のランニングコストと合わせ、関連機器の購入等を進める。	庶務課
2	ICT環境整備事業（ICT支援員）【再掲】	38,977	6,534	拡充	令和2年度の児童生徒一人１台端末整備に伴い、タブレットパソコンを最大限に有効活用するために、ICT支援員を増員し、支援の充実を図る。	庶務課
3	教員の働き方改革に伴う校務支援員（小学校）の勤務日数増加	14,944	1,629	拡充	私費会計業務における教員負担軽減を図るため、校務支援員（小学校）の勤務日数を、月8日から月11日に増加する。令和3年度は試行として小学校22校中4校の校務支援員の勤務日数を増加させる。	指導課
4	オリンピック・パラリンピック教育推進事業	13,927	13,927	新規	2016年からオリンピック・パラリンピック教育を年35時間以上行う。オリンピック・パラリンピック教育の集大成として、都割当案に基づき東京2020大会の競技観戦を全区立幼稚園年長児、小中学校児童・生徒が行う。	指導課
5	特別支援教育巡回相談員(チームステップ)の処遇改善	23,789	1,213	拡充	心理職である特別支援教育巡回相談員（チームステップ）は、教育相談員同様に高い専門性を持っていることから、教育相談員に統合することとし、両者の報酬の差額を計上する。	教育センター
6	特別支援学級指導員の増員	37,804	12,602	拡充	特別支援学級（9校）の安定した学級運営と児童・生徒の安全確保のため、特別支援学級指導員が未配置の3校に各1名配置するため、3名増員する。	教育センター
7	コミュニティ・スクール導入等促進事業	875	125	拡充	検討委員会における豊島区の地域にあったコミュニティ・スクールの仕組みの検討にあわせ、既存のモデル事業校２校の法定化を目指す。また、新規モデル事業校を１校拡大する。	庶務課（教育施策推進担当）
8	老朽化に伴う給食備品の更新[駒込中学校・千川中学校]	12,557	7,058	拡充	耐用年数が経過した給食備品を入替え、給食事故等を事前に防ぎ、生徒へ安定した給食提供を実施する。	学務課
9	子どもスキップの改修・開設準備	115,387	115,387	施設建設事業	子どもスキップ池袋第一の改築工事を行う。 令和元年度に竣工した子どもスキップ豊成のリース料を支払う。	放課後対策課
10	池袋第一小学校の改築	1,386,063	1,386,063	施設建設事業	「豊島区立小・中学校改築計画」に基づき、建替工事を行う。 （令和4年8月竣工予定）	学校施設課

次世代を担う子供を育む教育

No.	事業名	事業費	うち新拡分 事業費	種別	事業概要	所管
11	千川中学校の改築	19,326	19,326	施設建設事業	「豊島区立小・中学校改築計画」に基づき、建替工事に必要な測量を行う。	学校施設課
12	体育館トイレ等緊急改善推進事業	53,500	53,500	施設建設事業	小中学校の体育館トイレ及び外部トイレ等の洋式化改修を行う。	学校施設課
13	インターナショナルセーフスクール推進事業【再掲】	6,655	6,655	拡充	新型コロナウィルス感染症の影響により、令和2年度から3年度に認証申請を延期した、ISSの初認証2校（さくら小・千川中）・再認証2校（池一小・池袋中）の認証申請を行う。	庶務課（教育施策推進担当）
その他15事業		1,846,967	1,830,408			

＜参考＞公益財団法人としま未来文化財団

令和3年度 重点事業

第34回　としま能の会

2021年11月19日（金）東京芸術劇場プレイハウス

『本格的な能楽公演の鑑賞機会を創出し、日本の伝統芸能の普及に寄与する』

©新宮夕海

区ゆかりの一流の演者による能楽公演を開催します。

としま伝統芸能フェス（仮）
まつりのおとがきこえる

10月末　池袋西口公園野外劇場
GROBAL RING THEATRE

『区内をはじめ、全国の地域に根ざした伝統芸能、民俗芸能系団体がグローバルリングシアターに集結』

舞い・踊り・リズム・唄など、観て体感して楽しめる祭りを区民へ提供。関連ワークショップも実施します。

© 梁丞佑

挾間美帆
デンマーク・ラジオ ビッグバンド

11月5日（金）6日（土）　豊島区立芸術文化劇場

『世界のJAZZ界でひときわ輝く挾間美帆が首席指揮者に就任した北欧ビッグバンドの2DAYS公演』

グラミー賞ノミネートアーティスト挾間美帆とともに、北欧ジャズの拠点デンマークからビッグバンドが来日。ジャズの名曲と挾間美帆の作品を楽しめる2DAYSスペシャルプログラムです。

【本事業に関するお問い合わせ】
事業本部 事業企画課長　壱岐
（03-3590-7118）

誰一人取り残さない　持続可能な国際文化都市へ

令和3年2月／豊島区政策経営部広報課
〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1
℡（03）3981-1111（代表）